

平成22年度 予算(案)の概要

生活と安全を守り、まちの元気をサポートします



平成22年2月12日
大田区

平成 22 年度予算（案）の編成にあたって

平成 22 年度予算は、依然として停滞している経済状況を十分に踏まえたうえで、区民生活を支え、区民が安全・安心を感じることができる区政の実現、さらに、経済対策を強化し、区内産業の活性化の実現など行政サービスのより一層の充実をめざしました。また、21 年度にスタートした「おおた未来プラン 10 年」対象事業を着実に推進することで、安定した行政サービスを提供できるような編成を行っています。

国内景気に目を転じてみますと、一部の経済指標では改善傾向が見受けられるものの、生活実感に近い名目 GDP の動向に見られるように、景気の回復を感じるには程遠い状況にあります。区内経済も例外ではなく、特別区税を中心に大幅な減収が想定されます。

そこで、徹底した事業の見直しをゼロベースから進めるとともに、これまでに積み立ててきた財政基金を積極的に活用することで、必要な事業に確実に財源を配分したメリハリのある戦略的な予算を編成しました。

今年 10 月、羽田空港の再拡張・国際化が実現し、アジアを始め海外との交流機会が大幅に増えていきます。区は、国際交流都市・多文化共生都市をめざす「国際都市おおた」を推進してまいります。あわせて、地域特性を活かした地域力の発揮に向け、より一層の支援も行います。

平成 22 年度の一般会計予算規模は、2,267 億 6 千万円余で、厳しい財政状況下においても、前年度比 162 億 7 千万円、7.7%の増額予算となりました。経常的経費では 75 億円の削減を実現し、最小の経費で最大の効果をあげるべく、より一層の効率化に努めております。

この予算のもと、「地域力を活かし、国際都市を実現する大田区」をめざして、区民の皆様とともに手を携えて取り組んでまいります。

平成 22 年 2 月

大田区長

松原 忠義

目 次

1	平成 22 年度予算編成の基本的な考え方	8
2	区財政を取り巻く環境と平成 22 年度予算編成について	9
3	財政規模	11
4	歳入の状況（一般会計）	12
5	歳出の状況（一般会計）	13
5	2 歳出の状況（目的別）	14
6	特別会計予算の特徴	15
7	基金の状況	16
8	大田区の経営改善	17
9	主な組織の改正について	17
	平成 22 年度一般会計予算（案）集計表	18
(1)	歳出（款別）	18
(2)	歳入（款別）	19
10	事業説明資料	20
(1)	保健・福祉	
1	ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進 新規 	21
2	（仮称）障害者総合サポートセンターの設置 新規 	21
3	グループホーム・ケアホームの整備促進	22
4	地域生活移行支援コーディネート体制の整備 新規	22
5	特別養護老人ホーム整備促進 新規	23
6	難聴児、高齢者補聴器購入費助成事業 新規	24
7	いきいき高齢者入浴事業 新規	25
8	健康づくりの推進 	26

9	大田区少子化対策緊急事業（産科医療機関設備整備への助成）	新規	☺☺☺	27
10	新型インフルエンザ対策事業			27
11	すこやか赤ちゃん訪問事業			28
12	妊婦健康診査			29
13	高齢者予防接種（肺炎球菌予防接種費用助成）	新規		29
14	乳幼児予防接種（Hib ワクチン接種費用助成）	新規		30
 (2) 子育て・教育				
1	待機児対策の充実			31
2	児童館の整備・拡充	新規		32
3	こども発達センターわかばの家の土曜開館	新規		33
4	母子家庭自立支援給付金事業			33
5	学校運営システムの開発	新規		34
6	メンタルヘルスチェックの実施	新規		35
7	適応指導教室「つばさ」の増設	新規		36
8	嶺町小学校の改築			36
9	羽田中学校の改築			37
10	（仮称）入新井図書館の開設準備	新規		38
11	伊豆高原学園の再整備	新規		39
12	学校支援地域本部（（仮称）スクールサポートおおた）	新規	☺☺☺	40
 (3) 安全・安心				
1	駅周辺混乱防止対策事業（駅前滞留者対策）	新規	☺☺☺	41
2	災害情報を伝える無線放送の更新		☺☺☺	41
3	「業務継続計画」策定調査委託	新規		42
4	スケアード・ストレイト自転車安全教室事業	新規		42

5	幼児用自転車ヘルメット購入助成事業	43
6	橋梁の耐震性の向上	44
7	がけ等整備事業 新規	45
8	区営住宅耐震補強事業 新規	45
 (4) 産業・環境		
1	新製品・新技術開発支援事業	46
2	区内工場立地・操業環境整備助成事業 新規	47
3	次世代ものづくり人材育成事業 新規  	48
4	国内市場の販路開拓	49
5	海外市場の販路開拓（中国東北部市場開拓調査等） 新規 	49
6	大田区ものづくり優秀技能者表彰「大田の工匠 100 人」  	50
7	商店（飲食店）表彰制度 新規  	50
8	商店街景観整備事業  	51
9	河川水質浄化対策  	52
10	（仮称）壁面アートの実施（架道橋壁面美化） 新規  	53
11	大田区環境基本計画の策定 新規  	53
12	エコライフの普及（助成）  	54
13	緑化の推進  	55
14	羽田空港航空機内陸飛行騒音調査委託 新規 	56
15	緊急雇用対策事業	56
 (5) 文化・観光		
1	大田区総合体育館の建設   	57
2	おおたの観光魅力創出事業   	58
3	新国際線ターミナル内インフォメーションコーナーの 設置・運営 新規 	58

(6) 魅力ある地域づくり

1	団体支援とネットワークの強化	新規	😊😊😊	59
2	協働支援施設の運営（（仮称）区民活動支援センターの新設等）	新規	😊😊😊	60
3	萩中集会所の改築		😊😊😊	61
4 - 1	大森東特別出張所の改築		😊😊😊	61
4 - 2	入新井特別出張所の改築	新規	😊😊😊	62
4 - 3	鵜の木特別出張所の改築		😊😊😊	62
5	自転車駐車場の整備			63
6	桜のプロムナードの整備		😊😊😊	65
7	臨海部散策路の整備	新規	✚	65
8	南前堀不法係留沈船撤去・処分及び係留防止材等撤去・新設工事	新規		66
9	（仮称）メッセージベンチ事業	新規	😊😊😊	66
10	魅力ある公園のリニューアル		😊😊😊	67
11	大森ふるさとの浜辺公園春秋花植栽管理	新規	😊😊😊	68
12	公園の整備			69
13	蒲田駅周辺地区のまちづくり		😊😊😊 ✚	70
14	大森駅周辺地区のまちづくり		😊😊😊 ✚	71
15	大森駅周辺地区の整備構想		😊😊😊 ✚	72
16	都市計画マスタープランの改定			73
17	新空港線「蒲蒲線」の整備促進事業		✚	73
18	景観計画策定事業	新規	😊😊😊	74
19	おおた住まいづくりフェアの開催	新規	😊😊😊	74
20	住宅マスタープランの策定			75

21	京急関連駅周辺のまちづくり事業	✚	75
22	京急線の連続立体交差事業	✚	76
(7) 国際化推進			
1	外国語版大田区紹介ビデオの制作	新規 ✚	77
2	(仮称)多文化共生推進センターの開設	新規 ☺☺ ✚	77
3	外国語表記(3か国)防災地図・防災パンフレット		
	作成	新規 ☺☺ ✚	78
4	国際化記念事業	✚	78
5	(仮称)羽田空港跡地整備計画の策定	✚	79

各表の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しています。
増減率及び構成比などは、原則として各表内計数により計算しています。
端数処理の関係で表の縦横合計が合わない場合があります。

☺☺ 地域力に関する事業には、このマークを表示しています。

✚ 国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。

新規 新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。

平成22年度予算(案)の概要

一般会計総額

2,267億6,542万円

(平成21年度比 7.7%増)

生活と安全を守り、まちの元気をサポートします

平成22年度予算案は、次の三つの考え方を基に編成しました。

1. 福祉の充実と産業の活性化で、区民の生活と安全を守ります。
2. 羽田空港の国際化とリンクしたまちづくりを進めます。
3. 大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年」を着実に推進します。

保健・福祉

誰もが健康でイキイキと暮らせるまちをめざします。

- グループホーム・ケアホームの整備促進 (4,000万円)
- ★特別養護老人ホーム整備促進 (8億4,327万円)
- ★難聴児、高齢者補聴器購入費助成事業 (399万円)
- 健康づくりの推進 (24億1,269万円)〇〇〇
- ★大田区少子化対策緊急事業(産科医療機関設備整備への助成) (4,000万円)〇〇〇
- すこやか赤ちゃん訪問事業 (2,852万円)
- ★高齢者予防接種(肺炎球菌予防接種費用助成) (3,655万円)
- ★乳幼児予防接種(Hibワクチン接種費用助成) (3,118万円)

- ★ は新規事業を含みます。
- 〇〇〇 は地域力に関する事業を表します。
- ★ は国際都市をめざす事業を表します。



子育て・教育

「おおたっ子」の元気と子育て家庭を応援します。

- 待機児対策の充実 (22億2,591万円)
- ★児童館の整備・拡充 (1億7,069万円)
- ★こども発達センターわかばの家の土曜開館 (809万円)
- ★学校運営システムの開発 (9,557万円)
- ★メンタルヘルスチェックの実施 (700万円)
- ★伊豆高原学園の再整備 (7,997万円)
- ★学校支援地域本部((仮称)スクールサポートおおた) (288万円)〇〇〇

安全・安心

危機対応力を高め、安心して暮らせるまちをつくります。

- ★駅周辺混乱防止対策事業(駅前滞留者対策) (792万円)〇〇〇
- ★災害情報を伝える無線放送の更新 (3億7,942万円)〇〇〇
- 「業務継続計画」策定調査委託 (788万円)
- 橋梁の耐震性の向上 (7億3,506万円)

産業・環境

おおたの産業の明日を応援します。
地球に優しいまちづくりを進めます。

- 新製品・新技術開発支援事業 (9,094万円)
- ★次世代ものづくり人材育成事業 (1,945万円)〇〇〇
- ★海外市場の販路開拓(中国東北部市場開拓調査等) (3,016万円)★
- ★商店(飲食店)表彰制度 (340万円)〇〇〇
- 河川水質浄化対策 (1億4,400万円)〇〇〇
- エコライフの普及(助成) (1億1,635万円)〇〇〇
- ★羽田空港航空機内陸飛行騒音調査委託 (1,703万円)★

文化・観光

地域文化を育み、大田区の魅力を内外に発信します。

- 大田区総合体育館の建設 (23億2,253万円)〇〇〇★
- おおたの観光魅力創出事業 (7,281万円)〇〇〇★
- ★新国際線ターミナル内インフォメーションコーナーの設置・運営 (273万円)★

魅力ある地域づくり

区民の主体的な活動を支援し、地域の特色を活かした暮らしやすい、訪れたいまちをつくりたい。

- 団体支援とネットワークの強化 (3,080万円)〇〇〇
- ★協働支援施設の運営((仮称)区民活動支援センターの新設等) (1,673万円)〇〇〇
- 自転車駐車場の整備 (3億864万円)
- ★(仮称)メッセージベンチ事業 (32万円)〇〇〇
- 魅力ある公園のリニューアル (3億1,626万円)〇〇〇
- ★大森ふるさとの浜辺公園春秋花植栽管理 (359万円)〇〇〇
- 蒲田駅周辺地区のまちづくり (2,324万円)〇〇〇★
- 大森駅周辺地区のまちづくり (4億8,204万円)〇〇〇★
- 住宅マスタープランの策定 (978万円)
- 京急関連駅周辺のまちづくり事業 (5,349万円)★
- 京急線の連続立体交差事業 (14億5,625万円)★

国際化推進

羽田空港の国際化を機に、国際交流拠点都市・多文化共生都市の実現に取り組みます。

- ★外国語版大田区紹介ビデオの制作 (209万円)★
- ★(仮称)多文化共生推進センターの開設 (2,360万円)〇〇〇★
- 国際化記念事業 (6,362万円)★
- (仮称)羽田空港跡地整備計画の策定 (2,894万円)★

地域力を活かし、国際都市を実現する大田区

地域力

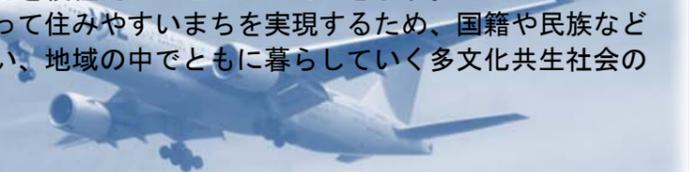
子どもや一人暮らし高齢者の見守り、子育て家庭への手助けなど、きめ細かい対応が求められる課題や、災害発生時の初動対応などは、行政だけでは十分な対応が困難となっています。また、地域で長年育まれてきた文化や歴史などを発信していく場合も、地域と区が連携を図ることでより効果を発揮します。

このような観点から、大田区におけるまちづくりを進める基本的方向として「地域力を活かしたまちづくり」を掲げ、地域の取り組みを支援していきます。

国際都市

羽田空港の国際化に伴い、大田区を訪れる外国人に向けて、文化や歴史などの地域資源を活用し、観光都市・ものづくりのまちとしての魅力を積極的にアピールしていきます。

また、区内に多く在住している外国人にとって住みやすいまちを実現するため、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、地域の中でともに暮らしていく多文化共生社会の実現をめざします。



1 平成 22 年度予算編成の基本的な考え方

【編成方針】

平成 22 年度予算は、

『生活と安全を守り、まちの元気をサポートする』予算

と位置づけ、次の視点を基本に編成しました。

視 点

～ 戦略的な予算編成 ～

特別区税など基幹財源の大幅な減収が見込まれる中でも、財政基金を有効に活用することで、重要な施策に「確実に財源を配分」

新たな行政課題に迅速かつ適切に対応するとともに、「おおた未来プラン 10 年」の着実な推進をめざし、既存事業のゼロベースでの見直しを通じて「財政の弾力性確保」

2 区財政を取り巻く環境と平成 22 年度予算編成について

平成 22 年度予算は、依然として停滞している経済状況の影響を受け、特別区税などの基幹財源の大幅な減収が見込まれる中での編成を余儀なくされました。

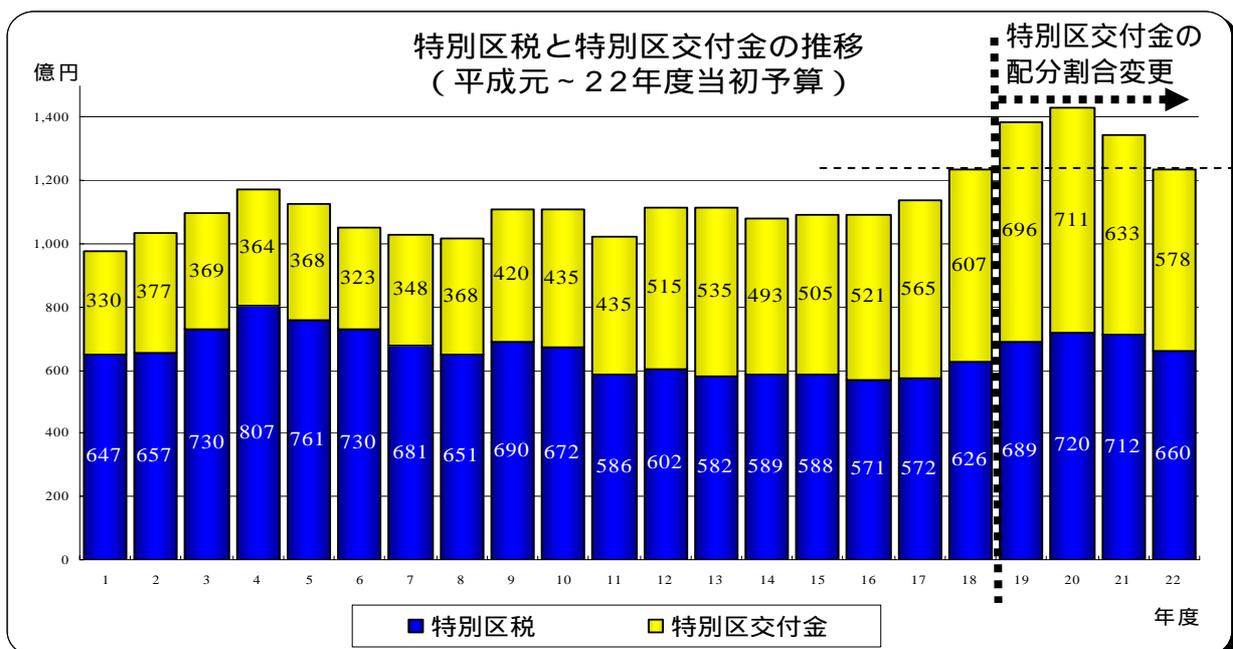
特別区税とともに、特別区交付金の財源となる調整三税の動向などのシミュレーションを前倒しで実施することで、目指すべき予算フレームの早期把握に努めました。加えて、全ての事業についてゼロベースでの見直しを徹底するとともに、これまでに積み立ててきた財政基金を積極的に活用することで、必要な事業に確実に財源を配分しうるメリハリのある戦略的な予算編成を行いました。

その結果、21 年度にスタートした「おおた未来プラン 10 年」対象事業の着実な推進とともに、様々な課題に的確に対応できるよう、行政サービスのより一層の充実を図っています。

区財政を取り巻く厳しい財政状況

生活実感に近い名目 GDP の動向に見られるように、景気の回復を感じるには程遠い状況にあります。区内経済も例外ではなく、特別区税を中心に大幅な減収が想定されます。

基幹財源（特別区税と特別区交付金の合計）の推移を見ると、下図のとおりとなっています。特別区交付金の配分割合が変更された平成 19 年度以降で見ると、特別区税、特別区交付金ともに最少規模が見込まれます。



調整三税とは固定資産税、市町村民税法人分、特別土地保有税をいう。

特別区交付金の配分割合は、平成 19 年 1 月の都区協議会にて決定された。

変更前：都 48%、区 52% 変更後：都 45%、区 55%

戦略的な予算編成の実施

特別区税などの大幅な減収が見込まれる中、当初の予算要求をまとめた段階では、多額の財源不足が発生する事態となりました。

しかし、景気が依然低迷する中だからこそ、区民生活をしっかりと支え、区民が安全・安心を感じられるように、行政サービスのより一層の充実を図る必要があると判断しました。

加えて、2年目を迎える「おおた未来プラン10年」対象事業の着実な推進を実現することの重要性を強く認識していました。

そこで、限られた財源を効率的に配分し、必要な事業で確実に財源が確保できる予算編成の実現に向け、次のような取り組みを行いました。

- ・ 全事業についてゼロベースでの見直しを行うことで、既存事業経費である経常的経費の削減を行う。
- ・ 扶助費を中心とした義務的経費が大幅に増加する中、経常的経費のスクラップで捻出した財源と、これまでに積み立ててきた財政基金の有効活用により、行政サービスの充実に繋がる基本計画事業費などの政策的経費が圧迫されることを回避する。

このような戦略のもと予算編成を行うことで、財政の健全性、弾力性の確保と、積極的な施策展開の両者を高い次元で実現することができました。

- ・ 区民の生活と安心を守るため、保健・福祉分野で大幅な増額を行っています。
(特別養護老人ホームの整備支援、難聴児や高齢者の補聴器購入補助、予防接種助成の拡充など)
- ・ 区内産業の活性化を推進するため、ものづくり分野での支援を拡充します。
(次世代ものづくり人材育成、新製品・新技術開発支援、区内工業立地・操業環境整備助成など)
- ・ 「おおた未来プラン10年」対象事業を推進します。
((仮称) 区民活動支援センターの開設、 (仮称) 多文化共生推進センターの開設、入新井図書館の開設、橋りょうの耐震性の向上、エコライフの普及、蒲田駅・大森駅周辺地区のまちづくりなど)

既存事業のゼロベースでの見直しなど

全事業についてゼロベースでの見直しを行い、75億円の経費圧縮を実現しました。義務的経費が184億円の大幅増となったものの、経常的経費で75億円の財源を捻出できたため、残額に相当する108億円まで財政基金の取崩額を抑えることができました。

3 財政規模

一般会計の予算規模は、前年度比 7.7%増の 2,268 億円となりました。財政状況が厳しい中でも、経常的経費の圧縮（ 75 億円）や財政基金の取崩し（ 108 億円）などによる財源確保により、前年度比で 163 億円の増額を可能にしました。

歳入のうち、半分以上を占める特別区税と特別区交付金の合計は、景気低迷の影響により、前年度比 8.0%減の 1,238 億円を見込んでおり、2 年連続での減額となっています。

「おおた未来プラン 10 年」対象事業の着実な推進に向け、前年度比 23.0%増の 300 億円を計上しました。予算規模 2,268 億円の約 13%を占める結果となっています。

【一般会計】

（単位：億円、％）

区 分	22 年度	21 年度当初	増減額	増減率
歳 入	2,268	2,105	163	7.7
うち特別区税 + 特別区交付金	1,238	1,345	107	8.0
歳 出	2,268	2,105	163	7.7
うち計画事業予算	300	244	56	23.0

【全会計】

（単位：億円、％）

区 分	22 年度	21 年度当初	増減額	増減率
一 般 会 計	2,268	2,105	163	7.7
特別会計 [4 会計]	1,190	1,165	25	2.1
全会計合計 [5 会計]	3,458	3,270	188	5.7

4 歳入の状況（一般会計）

特別区税は、特別区民税の大幅な減収が見込まれることなどにより、前年度比 7.3%減の 660 億円を計上しています。

特別区交付金（都区財政調整交付金）は、長引く景気の低迷を受けて、交付金の原資となる調整三税の一つである市町村民税法人分（都税）の大幅な減収が予測されることから前年度比 8.7%減の 578 億円を見込んでいます。

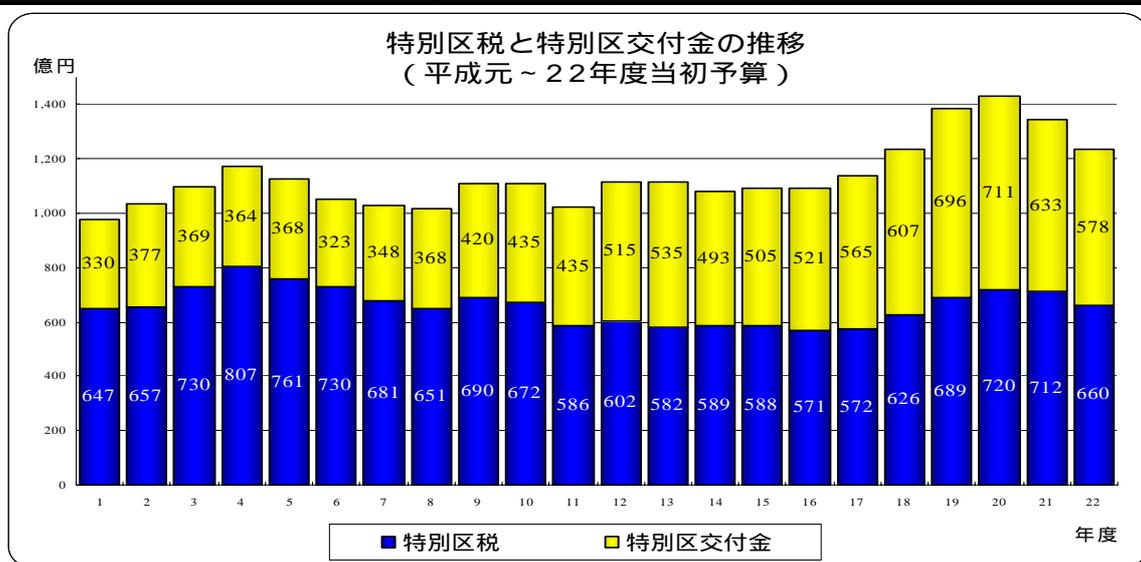
国庫支出金は、国庫負担金のうち福祉費負担金で生活保護費負担金や子ども手当負担金が大幅に増えた影響などにより、前年度比 46.6%増の 387 億円を計上しています。

その他における 130 億円の増は、基金繰入金の 140 億円の伸びなどが主な内容となっています。

【歳入の状況】

（単位：億円、％）

区 分	22 年度	21 年度当初	増減額	増減率
特 別 区 税	660	712	52	7.3
特 別 区 交 付 金	578	633	55	8.7
使 用 料 及 び 手 数 料	75	73	2	2.7
国 庫 支 出 金	387	264	123	46.6
都 支 出 金	105	93	12	12.9
特 別 区 債	31	28	3	10.7
そ の 他	432	302	130	43.0
合 計	2,268	2,105	163	7.7



5 歳出の状況（一般会計）

義務的経費は、184億円の増となっています。

- 人件費は、職員数の削減や給料の減額改定などにより全体で4.7%、23億円の減となっています。
- 扶助費は、生活保護世帯の増加、子ども手当の新設などを反映して30.7%、148億円の増を見込んでいます。
- 公債費は、満期一括償還方式の特別区債が償還期限を迎えることにより15.0%、12億円の増となっています。

経常的経費は、75億円の減となっています。

既存事業のゼロベースからの見直しなどにより、公債費を除くすべての款において前年度から減額となっています。

投資的経費は、4億円の減を見込んでいます。

特別養護老人ホーム整備への新規助成や安心・安全なまちへの積極的な取り組み、区内産業の活性化等をめざす施策を進めます。一方、全体では、京浜急行線連続立体事業に係る負担金の減（14億円）、旧区立幼稚園舎の学童保育施設への転用工事の完了（6億円）などにより減を見込んでいます。

政策的経費は、58億円の増となっています。

特別区税などの基幹財源の大幅な減が見込まれる中でも、「おおた未来プラン10年」に掲げる施策の着実な推進などのため、110億円を確保しました。

経費別歳出（前年度対比）

（単位：億円）

経費区分	義務的経費 （人件費、扶助費等）			経常的経費 （既存事業経費等）			投資的経費 （工事請負費等）			政策的経費 （基本計画対象事業等）		
	22年度	21年度	増減	22年度	21年度	増減	22年度	21年度	増減	22年度	21年度	増減
一般会計 合計	1,412	1,228	184	523	598	75	223	227	4	110	52	58
構成比	62.3%	58.3%	4.0%	23.0%	28.4%	5.4%	9.8%	10.8%	1.0%	4.9%	2.5%	2.4%

5-2 歳出の状況（目的別）

地域力の向上を図るための予算は、前年度比 11.3%、9 億円の増となっています。主な内容は、地域力を活用するうえでの拠点となる出張所や集会所の改築費用となっています。

福祉と保健予算は、前年度比 19.6%、198 億円の増となっています。特別養護老人ホーム整備費用の新規助成、国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計への繰出金の増、生活保護費など扶助費の増、子ども手当の新規実施などが主な増要因となっています。

まちづくり予算は、前年度比 9.8%、25 億円の減となっています。安全・安心のまちづくりの観点から橋梁新設改良費などは増額としています。一方、京浜急行連続立体事業において、事業進捗に伴う負担金の大幅な減などがあり、全体では減額となっています。

【目的別歳出の状況】

（単位：億円、％）

区 分	22 年度		21 年度当初		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
地 域 の 振 興	89	3.9	80	3.8	9	11.3
福 祉 と 保 健	1,207	53.2	1,009	47.9	198	19.6
産 業 と 観 光	31	1.4	28	1.3	3	10.7
ま ち づ く り	231	10.2	256	12.2	25	9.8
環 境 と 清 掃	108	4.8	106	5.0	2	1.9
教 育 と ス ポ ー ツ	226	10.0	233	11.1	7	3.0
区 政 の 運 営	288	12.7	316	15.0	28	8.9
区 債 の 償 還	88	3.9	77	3.7	11	14.3
合 計	2,268	100.0	2,105	100.0	163	7.7

6 特別会計予算の特徴

国民健康保険事業特別会計

平成 20 年度から始まった特定健康診査及び特定保健指導について、受診率を向上させるため、より受診しやすい工夫をするとともに一層の P R に努めます。

老人保健医療特別会計

老人保健医療制度は、後期高齢者医療制度の創設に伴い平成 20 年 3 月 31 日をもって廃止されましたが、過年度分の精算を行うため 22 年度末まで存続しています。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、平成 20 年度から実施されています。保険料の徴収や広域連合への医療費の納付などを行います。

介護保険特別会計

介護保険料の徴収や介護報酬の支払いを行うほか、介護予防事業にも積極的に取り組みます。平成 22 年度のおもな増要因は、居宅介護サービス給付費や地域密着型介護サービス給付費など保険給付費が伸びることが挙げられます。

【特別会計】

(単位：億円、%)

区 分	22 年度	21 年度当初	増減額	増減率
国 民 健 康 保 険 事 業	672	680	8	1.2
老 人 保 健 医 療	0.2	3	2.8	93.3
後 期 高 齢 者 医 療	130	116	14	12.1
介 護 保 険	388	366	22	6.0
合 計	1,190	1,165	25	2.1

7 基金の状況

基金には、「年度間に差のある税収等の影響を最小限に抑えつつ、質の高い行政サービスを安定的に提供する」という大切な財源調整機能があります。

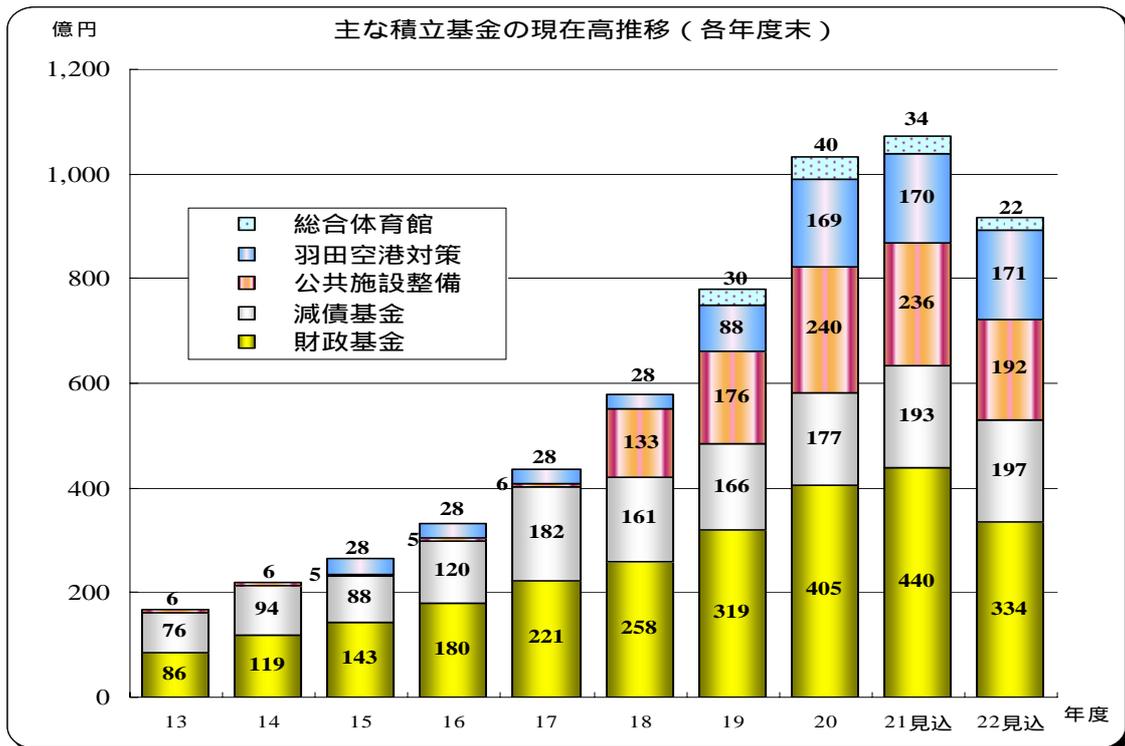
公共施設整備基金

老朽化した施設の更新には多額の経費が見込まれることから、将来に向けて積み立てを行い、必要に応じて事業へ充当します。

減債基金

満期に一括で返済する特別区債の元金として準備し、また、将来の公債費に充てる財源とするため、借入期間に対応した額を毎年度積み立てています。

なお、平成 22 年度末見込の主な積立基金現在高合計は 916 億円で、同時点の区債現在高 556 億円を大きく上回っており、区の財務は健全な状態にあるといえます。



(単位:億円)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度見込	22年度見込
主な積立基金現在高合計 A	168	219	264	333	437	580	779	1,031	1,073	916
財政基金	86	119	143	180	221	258	319	405	440	334
減債基金	76	94	88	120	182	161	166	177	193	197
公共施設整備	6	6	5	5	6	133	176	240	236	192
羽田空港対策			28	28	28	28	88	169	170	171
総合体育館							30	40	34	22
特別区債現在高 B	1,257	1,183	1,113	1,058	944	837	698	636	600	556
基金現在高 - 区債現在高 A - B	1,089	964	849	725	507	257	81	395	473	360

8 大田区の経営改善

「おおた再生プラン」の成果を踏まえ、健全な財政を維持しながら、基本計画を円滑に進めていくため「大田行政経営プラン」を策定し、引き続き不断の行政経営改革を推進していきます。

「大田行政経営プラン」(平成 21～23 年度)の概要

行政資源の有効活用による的確な区民サービスの提供

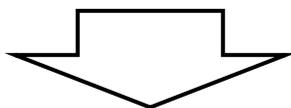
- 1 事務事業見直し(「事業仕分け」的手法による事務事業の総点検、職員定数の適正化等)
- 2 民間等のノウハウの活用(民間委託の検証及び適切な活用の推進、外郭団体の改革推進等)
- 3 新たな業務手法の取組み(窓口サービスの拡充、新たな財源確保策等の検討及び推進等)

区民との連携による地域力の向上

- 1 区民参画の拡大と地域との連携(区民意見公募手続制度の推進、地域力推進会議の活動支援等)
- 2 区政の透明性の向上(行政情報公開の推進、新たな行政評価制度の実施及び公表等)

職員力の発揮による組織の活性化

- 1 人材育成の推進(人材育成基本方針の改訂、職員提案制度の普及推進等)
- 2 能力開発・能力活用型職員配置の推進(職員配置の弾力的運用の検討等)
- 3 多様な任用形態の活用(経験者採用職員等のスキルの活用、再任用・再雇用の活用の検討等)



「大田行政経営プラン」(平成 21 年度の主な取り組み)

「『事業仕分け』的手法による事務事業総点検」実施策の検討
本庁舎窓口再配置の実施、窓口サービス計画検討委員会による検討の実施
指定管理者モニタリング委員会によるモニタリング制度の充実
「大田区人材育成基本方針」の改訂

9 主な組織の改正について

建築主事の業務等を担当する「建築審査担当課長」を設置し、特定行政庁としての体制を強化します。

学校支援地域本部事業の推進とともに、(仮称)大田区総合体育館開設準備、東京国体等、スポーツ振興業務を統括する「教育地域力・スポーツ振興担当部長」を設置します。

平成22年度 一般会計予算（案）集計表

（1）歳出（款別）

（単位：千円、％）

款		22年度		21年度当初		増（ ）減	
		予算額	構成比	予算額	構成比	額	率
1	議 会 費	989,905	0.4	998,031	0.5	8,126	0.8
2	総 務 費	34,550,190	15.2	36,316,376	17.3	1,766,186	4.9
3	福 祉 費	113,397,491	50.0	93,459,081	44.4	19,938,410	21.3
4	衛 生 費	7,242,065	3.2	7,404,512	3.5	162,447	2.2
5	産業経済費	3,107,914	1.4	2,769,583	1.3	338,331	12.2
6	土 木 費	14,910,473	6.6	15,466,533	7.3	556,060	3.6
7	都市整備費	8,181,448	3.6	10,091,248	4.8	1,909,800	18.9
8	環境清掃費	10,759,630	4.7	10,616,266	5.0	143,364	1.4
9	教 育 費	22,627,499	10.0	23,317,848	11.1	690,349	3.0
10	公 債 費	8,832,409	3.9	7,682,187	3.6	1,150,222	15.0
11	諸支出金	1,966,394	0.9	1,872,109	0.9	94,285	5.0
12	予 備 費	200,000	0.1	500,000	0.2	300,000	60.0
合 計		226,765,418	100.0	210,493,774	100.0	16,271,644	7.7

(2) 歳入(款別)

(単位:千円、%)

款	22年度		21年度当初		前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 特別区税	66,030,608	29.1	71,229,112	33.8	5,198,504	7.3
2 地方譲与税	1,951,000	0.9	2,097,000	1.0	146,000	7.0
3 利子割交付金	927,000	0.4	946,297	0.4	19,297	2.0
4 配当割交付金	277,000	0.1	535,500	0.3	258,500	48.3
5 株式等譲渡所得割交付金	128,000	0.1	580,000	0.3	452,000	77.9
6 地方消費税交付金	7,293,000	3.2	7,774,734	3.7	481,734	6.2
7 自動車取得税交付金	580,026	0.3	1,303,000	0.6	722,974	55.5
8 地方特例交付金	1,172,879	0.5	830,000	0.4	342,879	41.3
9 特別区交付金	57,758,229	25.5	63,299,805	30.1	5,541,576	8.8
10 交通安全対策特別交付金	100,955	0.0	99,000	0.0	1,955	2.0
11 分担金及び負担金	3,524,136	1.6	3,559,105	1.7	34,969	1.0
12 使用料及び手数料	7,499,878	3.3	7,339,454	3.5	160,424	2.2
13 国庫支出金	38,721,974	17.1	26,414,063	12.5	12,307,911	46.6
14 都支出金	10,498,414	4.6	9,296,026	4.4	1,202,388	12.9
15 財産収入	675,422	0.3	938,734	0.4	263,312	28.0
16 寄附金	299,750	0.1	252,058	0.1	47,692	18.9
17 繰入金	17,954,586	7.9	3,886,121	1.8	14,068,465	362.0
18 繰越金	2,000,000	0.9	2,000,000	1.0	0	0.0
19 諸収入	6,272,561	2.8	5,293,765	2.5	978,796	18.5
20 特別区債	3,100,000	1.4	2,820,000	1.3	280,000	9.9
合 計	226,765,418	100.0	210,493,774	100.0	16,271,644	7.7

1 0 事業説明資料

- | | | |
|-----|-----------|------------|
| (1) | 保健・福祉 | P. 21～P.30 |
| (2) | 子育て・教育 | P. 31～P.40 |
| (3) | 安全・安心 | P. 41～P.45 |
| (4) | 産業・環境 | P. 46～P.56 |
| (5) | 文化・観光 | P. 57～P.58 |
| (6) | 魅力ある地域づくり | P. 59～P.76 |
| (7) | 国際化推進 | P. 77～P.79 |

※ 予算額は、表示単位未満を四捨五入しています。

※  地域力に関する事業には、このマークを表示しています。

※  国際都市をめざす事業には、このマークを表示しています。

※  新規事業を含む事業には、このマークを表示しています。

(1) 保健・福祉

【1】保健・福祉(1)

事業名	 ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進 新規
予算額	1,381万円
事業のねらい	区民や区を訪れる人すべてが快適に過ごせるまちをめざして、新たに「(仮称)ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針」を策定します。また、基本方針を実現するための具体的な行動計画であるアクションプランも、併せて策定します。
事業概要	1 策定スケジュール (1)策定委員会の設置・検討(平成22年4月～10月) *委員会は区民、関係団体・事業者を中心に20名程度で構成 (2)パブリックコメント等の実施(平成22年11月) (3)基本方針等の策定(平成22年12月) 2 策定経費 1,381万円 *策定委員会開催費、事務費、策定支援業務委託費等
問合先	担当課 福祉部 福祉管理課
	課長氏名 安元 祐一郎 電話 5744-1241
	担当者名 立花 電話 5744-1244

【1】保健・福祉(2)

事業名	 (仮称) 障害者総合サポートセンターの設置 新規
予算額	32万円
事業のねらい	障がい者(児)が地域において「育ち、学び、働き、安心して暮らす」という、生涯にわたっての自立した生活を支援し、総合的にサポートする拠点として(仮称)障害者総合サポートセンターを設置します。
事業概要	(仮称)障害者総合サポートセンターの設置にあたり、候補地・運営体制・具体的な機能等についての基本計画を策定します。 基本計画をリーフレット等の冊子として発行し、広く区民に周知します。 <スケジュール> 21～22年度 基本計画策定 23年度 調査・基本設計 24年度 実施設計 25年度 工事 26年度 竣工運営
問合先	担当課 福祉部 障害福祉課(障害者施設計画担当課長)
	課長氏名 今岡 正道 電話 5744-1686
	担当者名 斉藤 電話 5744-1700

【1】保健・福祉（3）

事業名	グループホーム・ケアホームの整備促進
予算額	4,000万円
事業のねらい	親亡き後や、介護者の高齢化・疾病等により介護を受けられない障がい者が、地域で自立して安心した生活を送り続けることができるよう、グループホーム・ケアホームの整備を促進します。
事業概要	<p>1 事業内容 社会福祉法人、NPO法人等がグループホームまたはケアホームを設置する際の施設整備に係る経費の助成を行います。</p> <p>2 補助金額 1 施設 2,000万円を限度とします。</p> <p>3 補助件数 2 施設を予定しています。</p>
問合せ先	担当課 福祉部 障害福祉課（障害者施設計画担当課長）
	課長氏名 今岡 正道 電話 5744-1686
	担当者名 田中 電話 5744-1639

【1】保健・福祉（4）

事業名	地域生活移行支援コーディネーター体制の整備 新規
予算額	600万円
事業のねらい	精神障がいのある人が退院して地域生活を始める際のサポートや、その後の治療中断の防止のために、地域活動支援センターに専任のコーディネーターを配置する経費の助成を行います。
事業概要	<p>1 事業内容 地域活動支援センター I 型事業所に地域生活移行コーディネーターを配置し、経費の助成を行います。</p> <p>予算事業名及び予算額 地域活動支援センター 総予算額 8,586万円</p>
問合せ先	担当課 福祉部 障害福祉課
	課長氏名 水井 靖 電話 5744-1249
	担当者名 後藤 電話 5744-1687

事業名	特別養護老人ホーム整備促進 新規
予算額	8億4,327万円
事業のねらい	特別養護老人ホームの整備促進のため、整備意向調査を行うとともに、民間事業者の参入支援のために、従来の施設整備費補助に加え、新たに施設整備資金の貸付制度を創設しました（現在2施設の整備が進行中）。おた未来プラン10年の整備目標160床以上を前倒しし、早期整備を推進します。
事業概要	<p>1 整備概要（予定）</p> <p>(1)（仮称）フロース大森南</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画地 大森南一丁目 ・定員 特別養護老人ホーム80床、ショートステイ10床 ・開設 平成24年4月 <p>(2)（仮称）千里</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画地 東糞谷一丁目 ・定員 特別養護老人ホーム64床、ショートステイ8床 ・開設 平成24年4月 <p>2 区支援額</p> <p>(1) 貸付（平成22年度実施） 7億9,500万円</p> <p>(2) 施設整備費補助（平成22～23年度実施）</p> <p style="padding-left: 40px;">平成22年度 4,827万円（進捗率10%）</p> <p style="padding-left: 40px;">平成23年度 4億3,440万円（進捗率90%）</p> <p style="padding-left: 40px;">※施設整備費補助金は、その年度の進捗率に応じた額とする。</p>
問合先	担当課 福祉部 高齢計画課
	課長氏名 中原 賢一 電話 5744-1266
	担当者名 久保 電話 5744-1637

【1】保健・福祉（6-1）

事業名	難聴児補聴器購入費助成事業 新規												
予算額	200万円												
事業のねらい	難聴児の円滑なコミュニケーションと年齢に即した言語の発達には、早い時期から聴力に合わせたオーダーメイドの補聴器を装着することが必要です。子育て世代には大きな経済的負担となっている高額な補聴器購入費用の一部を助成することにより、難聴児の補聴器の購入を支援します。												
事業概要	<p>(1) 対象 区内に居住する中学生以下の児童で、身体障害者手帳の交付対象とならない聴力程度にある児童に対し、補聴器購入費用の一部を助成します（所得制限があります）。</p> <p>(2) 助成内容 片耳の場合 5 万円、両耳の場合 10 万円を限度とします（1 回を限度）。</p> <p>(3) 助成見込数 20 名程度</p>												
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>担当課</td> <td>福祉部</td> <td>障害福祉課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>水井 靖</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 2 4 9</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>新田</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 2 5 1</td> </tr> </table>	担当課	福祉部	障害福祉課		課長氏名	水井 靖	電話	5 7 4 4 - 1 2 4 9	担当者名	新田	電話	5 7 4 4 - 1 2 5 1
担当課	福祉部	障害福祉課											
課長氏名	水井 靖	電話	5 7 4 4 - 1 2 4 9										
担当者名	新田	電話	5 7 4 4 - 1 2 5 1										

【1】保健・福祉（6-2）

事業名	高齢者補聴器購入費助成事業 新規												
予算額	199万円												
事業のねらい	耳が不自由なため会話が困難な高齢者の方に補聴器の購入費を助成し、日常生活を営むうえでのよりよいコミュニケーションの確保や、積極的な社会参加を促します。												
事業概要	<p>1 対象者 住民税非課税世帯の70歳以上で医師が補聴器を必要とすると認める高齢者（ただし障害者自立支援法により補聴器に係る補装具費を支給されている方を除く）。</p> <p>2 助成限度額 20,000 円</p>												
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>担当課</td> <td>福祉部</td> <td>高齢事業課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>平野 幸枝</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 2 5 5</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>中川</td> <td>電話</td> <td>5 7 4 4 - 1 2 5 2</td> </tr> </table>	担当課	福祉部	高齢事業課		課長氏名	平野 幸枝	電話	5 7 4 4 - 1 2 5 5	担当者名	中川	電話	5 7 4 4 - 1 2 5 2
担当課	福祉部	高齢事業課											
課長氏名	平野 幸枝	電話	5 7 4 4 - 1 2 5 5										
担当者名	中川	電話	5 7 4 4 - 1 2 5 2										

【1】保健・福祉（7）

事業名	いきいき高齢者入浴事業 新規
予算額	9, 4 8 7万円
事業のねらい	70歳以上の高齢者に入浴証を発行し、公衆浴場利用料金の一部を区が負担することにより、健康維持や地域でのふれあいを推進し、ひきこもり防止を図ります。
事業概要	<p>70歳以上の高齢者約95,500人に、入浴証引換券を送付します。</p> <p>引換券は、年間60回、1回150円の自己負担で、公衆浴場が利用できる入浴証と交換できます。交換は各公衆浴場にて行います。</p> <p>※平成22年度は、9月1日から実施予定につき、35回の利用になります。</p>
問合先	担当課 福祉部 高齢事業課
	課長氏名 平野 幸枝 電話 5 7 4 4 - 1 2 5 5
	担当者名 中川 電話 5 7 4 4 - 1 2 5 2

事業名	 <p style="text-align: center;">健康づくりの推進</p>
予算額	24億1,269万円
事業のねらい	<p>区民の主体的な健康づくりをめざし、区の健康施策に関する計画「（仮称）すこやかおおたプラン」を策定し、区民、事業者、区が連携して健康事業に取り組むことにより、すこやかなまちづくりを推進します。</p>
事業概要	<p>1 すこやかおおた推進事業 918万円 区民の健康づくりを推進するための「（仮称）すこやかおおたプラン」を策定し、区民の健康意識を高めるとともに、区民による自主的な健康づくり活動を支援します。</p> <p>2 小規模企業健診助成 1,668万円 従業員29人以下の小規模企業等が労働安全衛生法上の健康診断を実施した場合、その企業に対して、従業員の健診一人につき4,000円の費用助成を行うことにより、従業員の健康管理面から小規模企業等を支援します。</p> <p>3 特定健診・長寿健診等の実施 11億8,283万円 区民の生活習慣病予防のために、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した内容で特定健康診査等を行います。必要な方に対しては特定保健指導を行い、生活習慣の改善を支援します。</p> <p>4 各種検診等の実施 12億400万円 （各種がん検診、肝炎ウイルス検診、成人歯科健診等） 各種疾患の早期発見及び早期治療のため、検診等を実施し、区民の健康増進を図ります。</p>
問合先	担当課 保健所 健康づくり課
	課長氏名 吉田 博 電話 5744-1660
	担当者名 上記1・2・3 中島 電話 5744-1661
	担当者名 上記4 井上 電話 5744-1265

【1】保健・福祉（9）

事業名	 大田区少子化対策緊急事業～産科医療機関設備整備への助成 新規												
予算額	4,000万円												
事業のねらい	<p>産科医の高齢化による廃業や産科医不足等により、産科医院や病院での産科病床数が減少しています。大田区では、ここ2年間、区民の区内分娩率が50%を切る状況となっています。</p> <p>区内で分娩施設を新規・移転・新設・拡充・再開した場合に、一定の条件の下に設備整備費を助成し、安心して産み育てられる大田区を目指します。</p>												
事業概要	<p>(1) 産科医療機関設備整備への助成</p> <p>医療機関が分娩機能の整備拡充を図るために行う施設整備（医療機器購入費）に対して、必要な助成を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規（対象は診療所・助産所）、新設・再開（対象は病院・診療所）の場合は、年間分娩件数の80%以上が区民であること ・移転（対象は診療所）、拡充（対象は病院・診療所）の場合は、上記条件のほかに、年間分娩件数が30%以上増加すること ・期間 平成22年度から26年度までの5年間 ・予算額 4,000万円 												
問合先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">保健所 保健衛生課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>宇佐見 衛</td> <td>電話</td> <td>5744-1261</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>菅原</td> <td>電話</td> <td>5744-1264</td> </tr> </table>	担当課	保健所 保健衛生課			課長氏名	宇佐見 衛	電話	5744-1261	担当者名	菅原	電話	5744-1264
担当課	保健所 保健衛生課												
課長氏名	宇佐見 衛	電話	5744-1261										
担当者名	菅原	電話	5744-1264										

【1】保健・福祉（10）

事業名	新型インフルエンザ対策事業												
予算額	1,983万円												
事業のねらい	<p>新型インフルエンザ対策として、対策用品を引き続き備蓄する等、ウイルスが弱毒性から強毒性に変異しても対応できるようにします。</p>												
事業概要	<p>新型インフルエンザ流行時の対策用品（サージカルマスク及び消毒用アルコール）の備蓄を進めます。</p> <p>また、周知用チラシを作成、配布し、情報提供及び区民の意識向上に努めます。</p>												
問合先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">保健所 保健衛生課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>宇佐見 衛</td> <td>電話</td> <td>5744-1261</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>行武</td> <td>電話</td> <td>5744-1263</td> </tr> </table>	担当課	保健所 保健衛生課			課長氏名	宇佐見 衛	電話	5744-1261	担当者名	行武	電話	5744-1263
担当課	保健所 保健衛生課												
課長氏名	宇佐見 衛	電話	5744-1261										
担当者名	行武	電話	5744-1263										

【1】保健・福祉（11）

事業名	すこやか赤ちゃん訪問事業
予算額	2,852万円
事業のねらい	乳児がいるすべての家庭を訪問し、乳児の発育状況や様々な不安、悩み等を聞き、子育てに関する必要な情報提供を行うことにより、赤ちゃんのすこやかな成長を支援します。
事業概要	<p>すべての乳児家庭を生後4か月頃までに訪問します。訪問により乳児の発育、健康状態等の保健指導、子育て情報の提供及び養育についての相談や助言を行います。</p> <p>1 訪問対象 区内において生後4か月までの乳児のいる全家庭 2 対象者数 年間約5,500世帯</p> <p>* 本事業は、児童福祉法に定める「乳児家庭全戸訪問事業」に相当し、母子保健法に基づく「新生児・妊産婦訪問指導事業」を包括したものです。</p>
問合先	担当課 こども家庭部 子ども家庭支援センター
	課長氏名 根本 勝司 電話 3763-0188
	担当者名 梅原 電話 5753-7830
	担当課 保健所 健康づくり課
	課長氏名 吉田 博 電話 5744-1660
	担当者名 金子 電話 5744-1683

【1】保健・福祉（12）

事業名	妊婦健康診査
予算額	4億6,970万円
事業のねらい	妊婦の健康管理を支援し、妊産婦及び乳児の死亡率の低下を図るとともに、流・早産その他障がい等の予防を図ります。
事業概要	妊婦健康診査の実施により、安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。 妊婦健康診査 4億6,970万円 (公費補助回数) 妊婦健康診査 14回 超音波検査 1回 延 69,500人 医療機関で実施
問合せ先	担当課 保健所 健康づくり課
	課長氏名 吉田 博 電話 5744-1660
	担当者名 井上 電話 5744-1265

【1】保健・福祉（13）

事業名	高齢者予防接種（肺炎球菌予防接種費用助成） 新規
予算額	3,655万円
事業のねらい	予防接種の費用を一部助成し、肺炎球菌による肺炎の発症を予防します。
事業概要	肺炎の原因のひとつである肺炎球菌の感染予防のため、70歳以上の高齢者を対象として任意予防接種である肺炎球菌の予防接種費用を一部助成します。 (1) 対象者 平成23年3月31日現在 70歳以上(5歳刻み)の高齢者 (2) 助成額 4,000円(ひとり1回接種のみ) (3) 助成開始日 平成22年4月1日以降の接種
問合せ先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 宇佐見 衛 電話 5744-1261
	担当者名 金高 電話 5744-1263

【1】保健・福祉（14）

事業名	乳幼児予防接種（Hib ワクチン接種費用助成） 新規
予算額	3, 1 1 8 万円
事業の ねらい	予防接種の費用を一部助成し、インフルエンザ菌による髄膜炎等の発症を予防します。
事業概要	<p>乳幼児のb型インフルエンザ菌による感染予防のため、2歳未満の乳幼児を対象として任意予防接種であるH i b ワクチンの予防接種費用を一部助成します。</p> <p>(1) 対 象 者 接種日現在 生後2か月から2歳未満の乳幼児</p> <p>(2) 助 成 額 3,000円（ひとり4回まで）</p> <p>(3) 助成開始日 平成22年4月1日以降の接種</p>
問合先	担当課 保健所 保健衛生課
	課長氏名 宇佐見 衛 電話 5 7 4 4 - 1 2 6 1
	担当者名 金高 電話 5 7 4 4 - 1 2 6 3

(2) 子育て・教育

【3】子育て・教育(1)

事業名	待機児対策の充実
予算額	22億2,591万円
事業のねらい	<p>待機児の解消を図るため、</p> <p>(1) 老朽化している鶉の木保育園及び入新井保育園を改築し、合わせて定員の拡充を行います。また、鶉の木地区に鶉の木特別出張所と合築で保育園を新設します。</p> <p>(2) さらに、保育ママのグループによる乳児保育(10名程度)を行います(平成23年1月開始予定)。従来から行っている保育ママによる家庭的保育を、保育ママのグループが行うことで、保育の力をもっている区民の児童保育への参加を促進します。</p> <p>(3) 民間保育所の新設について、開設事業者に建設費用の一部を助成します。また、民間保育所の老朽化施設の改築費用の一部を助成し、保育環境の整備を図ります。</p>
事業概要	<p>内訳</p> <p>1 保育園の改築計画</p> <p>(1) 鶉の木保育園の改築 2億1,828万円</p> <p>①改築場所 旧千鳥幼稚園跡地</p> <p>②平成21年8月着工、平成22年10月開園(予定)</p> <p>(2) 入新井保育園の改築(現在地で改築) 4億6,579万円</p> <p>①平成22年12月着工(予定)、平成24年2月開園(予定)</p> <p>2 保育園の新設</p> <p>(1) (仮称)新鶉の木保育園の新設 1億2,848万円</p> <p>①鶉の木特別出張所と合築</p> <p>②平成24年度開園(予定)</p> <p>(2) 中央五丁目保育園建設予定地</p> <p>①土地購入費及び擁壁設置工事費 3億5,710万円</p> <p>3 保育園の改修</p> <p>(1) 西六郷児童館の保育園転用改修工事 1億5,611万円</p> <p>4 グループ保育室の設置 421万円</p> <p>①建設予定地(東雪谷五丁目8番 住居表示)</p> <p>5 民間保育所への建設費用等の助成(大田区次世代育成支援緊急対策整備事業) 4億9,210万円</p> <p>①新設保育所2施設、改築1施設</p> <p>6 保育園入所者運営費(拡充分) 8,078万円</p> <p>7 民間保育所に対する法外援護(拡充分) 7,022万円</p> <p>8 認証保育所補助</p> <p>(1) 運営費補助(拡充分) 1億9,186万円</p> <p>(2) 保護者負担軽減補助(拡充分) 3,480万円</p>

	<p>9 家庭福祉員制度経費（拡充分） 2,618万円</p> <p>問合先</p> <p>【こども家庭部 子育て支援課・待機児担当副参事・保育サービス課】</p> <p>課長氏名 柿本 伸二 電話 5744-1271</p> <p>課長氏名 市野 由香里 電話 5744-1641</p> <p>課長氏名 近藤 倫生 電話 5744-1276</p> <p>担当者名</p> <p>（保育園関係）石川 電話 5744-1269</p> <p>（グループ保育室、民間保育所支援関係）</p> <p>桑原 電話 5744-1279</p>
--	--

【2】子育て・教育（2）

事業名	<p>児童館の整備・拡充（おおたっ子ひろばの開設等） 新規</p>												
予算額	<p>1億7,069万円</p>												
事業のねらい	<p>(1) 仲池上児童館池雪分室は現在、池雪小学校の空き教室を利用して学童保育を実施していますが、児童数の増加で普通教室が不足する恐れがあることから、近隣にある敷地に移転します。</p> <p>(2) 旧区立幼稚園舎6施設を活用して、子どもの健全育成を目的とした「おおたっ子ひろば」を開設します。この施設では、学童保育や、全児童の放課後の居場所づくり、地域の在宅乳幼児親子事業などの子育て支援事業を実施します。</p>												
事業概要	<p>1 仲池上児童館学童保育室池雪分室の移転(新規項目) 13,827万円（建設費等）</p> <p>池雪分室の移転により学童保育定員を増やし、保留児童の解消をめざします。</p> <p>所在地 東雪谷五丁目9番（住居表示）</p> <p>2 おおたっ子ひろばの開設 3,242万円（施設管理費等） 新規</p> <p>地域の子育て支援施設、児童の健全育成支援の充実を図ります。</p> <p>①梅田おおたっ子ひろば（南馬込6-6-22）</p> <p>②松仙おおたっ子ひろば（久が原1-11-20）</p> <p>③羽田おおたっ子ひろば（羽田3-3-14）</p> <p>④萩中おおたっ子ひろば（本羽田3-4-22）</p> <p>⑤西六郷おおたっ子ひろば（西六郷2-3-1）</p> <p>⑥新宿おおたっ子ひろば（蒲田本町1-5-1）</p>												
問合先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>こども家庭部</td> <td>子育て支援課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>柿本 伸二</td> <td>電話 5744-1271</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>上記1 関</td> <td>電話 5744-1273</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>上記2 池田</td> <td>電話 5744-1609</td> </tr> </table>	担当課	こども家庭部	子育て支援課	課長氏名	柿本 伸二	電話 5744-1271	担当者名	上記1 関	電話 5744-1273	担当者名	上記2 池田	電話 5744-1609
担当課	こども家庭部	子育て支援課											
課長氏名	柿本 伸二	電話 5744-1271											
担当者名	上記1 関	電話 5744-1273											
担当者名	上記2 池田	電話 5744-1609											

【2】子育て・教育（3）

事業名	 こども発達センターわかばの家の土曜開館 新規
予算額	809万円
事業のねらい	心身障がい児を対象とした訓練事業の利用希望が増加している状況に対応するため、発達相談及び外来訓練事業を従来の平日に加え、新たに土曜に開設します。土曜開設により利用できる日数を増やすとともに、家族参加を支援します。
事業概要	<p>発達相談及び外来訓練事業を従来の平日に加え新たに土曜に開設する。</p> <p>1 対象児 発達に遅れや偏りの疑いのある就学前の乳幼児</p> <p>2 増加見込数 (1) 外来訓練 年間延べ 360回（本館、分館） (2) 発達相談 年間約 30件（本館、分館）</p> <p>* 本事業は大田区立心身障害児通所施設条例及び大田区立心身障害児通所施設条例施行規則に定める「外来訓練」「相談事業」です。</p>
問合先	<p>担当課 こども家庭部 こども発達センターわかばの家</p> <p>課長氏名 高橋 正志 電話 3757-7761</p> <p>担当者名 直井 電話 3757-7761</p>

【2】子育て・教育（4）

事業名	母子家庭自立支援給付金事業
予算額	2,531万円
事業のねらい	母子家庭の母に対して、就労のための国家資格取得や能力開発の取り組みを支援し、母子家庭の経済的自立の促進を図ります。
事業概要	<p>対象者の目的に応じて2種類の給付があります。</p> <p>(1) 母子家庭高等技能訓練促進費 国家資格取得を目的として養成機関で修業中の一定期間、月額141,000円（課税世帯70,500円）を支給し、生活負担の軽減を図り、資格取得を支援します。</p> <p>(2) 自立支援教育訓練給付金 就労につながる能力開発のために受講した教育訓練講座終了後、受講料の2割相当額（4,001円以上、10万円を限度）を助成します。</p>
問合先	<p>担当課 福祉部 蒲田生活福祉課</p> <p>課長氏名 西山 正人 電話 5713-1705</p> <p>担当者名 鎌田 電話 5713-1382</p>

【2】子育て・教育（5）

<p>事業名</p>	<p>学校運営システムの開発 新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">9, 557万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>教育委員会事務局と学校をネットワークで結び情報を共有するとともに、校務支援システムを導入して、校務の効率化を図ります。 あわせて、学校の情報セキュリティの更なる向上を目指します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 システム開発経費 校務支援システム・ネットワークを構築するための基本設計等</p> <p>2 基盤整備のための準備工事 通信回線の導入のための配管工事等</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 教育総務部 教育事務改善担当課</p>
	<p>課長氏名 福本 英也 電話 5744-1425</p>
	<p>担当者名 宝田 電話 5744-1696</p>

<p>事業名</p>	<p>メンタルヘルスチェックの実施 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>700万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>これまでいじめや不登校等、顕在化している問題を中心に、担任や養護教諭、スクールカウンセラー等との連携により様々な対策を講じてきました。しかし、近年の児童・生徒が、人間関係をうまく築けない、周囲とトラブルを起こすなどの事例において、子どもたちの内面にある強いストレスが原因となっていることも少なくありません。本人も意識せずなかなか表面化しないこれら個人の内面の問題を早期に発見し、問題を未然に防ぐための支援・援助が不可欠です。</p> <p>そこで、児童・生徒の学校生活のストレスやその原因を早期に発見するため、メンタルヘルスチェックを実施します。その結果、ストレスの顕著な児童・生徒に対しては、担任やスクールカウンセラーとの面談を実施し、組織的な早期対策を講じることで、不登校等の問題行動の未然防止を図ります。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 対象児童・生徒 小学校4年生～中学校3年生 2 実施時期 年2回（6月、11月） 3 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「メンタルヘルスチェックシート」によるメンタルヘルスチェックを実施（マークシート方式） ● データを分析 ● 学年会等で分析結果と日常の観察を照らし合わせ、担任やスクールカウンセラー等との面談を実施 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 教育総務部 指導課 課長氏名 鈴村 邦夫 電話 5744-1434 担当者名 大泉・菅野 電話 5744-1436</p>

【2】子育て・教育（7）

事業名	適応指導教室「つばさ」の増設 新規												
予算額	211万円												
事業のねらい	<p>大田区の不登校児童生徒数は、小学生では減少傾向にあるものの、中学生は横ばいで、全国や東京都の平均を上回っています。</p> <p>こうした状況の中で、不登校対策の一環として、羽田地区に適応指導教室「つばさ」を増設し、羽田地区から現在、池上・蒲田の適応指導教室に通室する児童・生徒の利便性の向上を図ります。</p> <p>これにより、心因的理由等で登校できなくなった児童・生徒の通室をより拡大し、学校復帰への支援を充実します。</p>												
事業概要	<p>（仮称）適応指導教室「つばさ」羽田を児童館分館とタイムシェア・スペースシェアにより開設します。</p> <p>22年度に改修工事を行い、22年6月に開設する予定です。</p>												
問合せ先	<table border="0"> <tr> <td>担当課</td> <td>教育総務部</td> <td>教育センター課</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>鈴木 邦夫</td> <td>電話</td> <td>5744-1434</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>教育総務部副参事</td> <td>電話</td> <td>5744-1695</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部	教育センター課		課長氏名	鈴木 邦夫	電話	5744-1434	担当者名	教育総務部副参事	電話	5744-1695
担当課	教育総務部	教育センター課											
課長氏名	鈴木 邦夫	電話	5744-1434										
担当者名	教育総務部副参事	電話	5744-1695										

【2】子育て・教育（8）

事業名	嶺町小学校の改築												
予算額	1億4,767万円												
事業のねらい	<p>校舎の老朽化及び児童数の増加に対応するため、校舎の改築を行います。改築工事期間中は、既存校舎を最大限活用して授業を行い、一部についてはプレハブ校舎等で対応します。</p>												
事業概要	<p>1 施設の概要 所在地：田園調布南 6-10</p> <p>2 スケジュール概要（予定）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">平成 22 年度</td> <td style="text-align: right;">耐力度調査委託</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 22 年度～23 年度</td> <td style="text-align: right;">基本設計・実施設計委託</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 23 年度～25 年度</td> <td style="text-align: right;">改築工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 26 年度</td> <td style="text-align: right;">外構工事</td> </tr> </table> <p>3 改築予算（平成 22 年度）</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">(1) 基本設計・実施設計委託</td> <td style="text-align: right;">9,230 万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(2) 耐力度調査委託・プレハブ賃借料(I期)等</td> <td style="text-align: right;">5,537 万円</td> </tr> </table>	平成 22 年度	耐力度調査委託	平成 22 年度～23 年度	基本設計・実施設計委託	平成 23 年度～25 年度	改築工事	平成 26 年度	外構工事	(1) 基本設計・実施設計委託	9,230 万円	(2) 耐力度調査委託・プレハブ賃借料(I期)等	5,537 万円
平成 22 年度	耐力度調査委託												
平成 22 年度～23 年度	基本設計・実施設計委託												
平成 23 年度～25 年度	改築工事												
平成 26 年度	外構工事												
(1) 基本設計・実施設計委託	9,230 万円												
(2) 耐力度調査委託・プレハブ賃借料(I期)等	5,537 万円												
問合せ先	<table border="0"> <tr> <td>担当課</td> <td>教育総務部</td> <td>教育総務課施設担当</td> <td></td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>石井 一雄</td> <td>電話</td> <td>5744-1430</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>舟木</td> <td>電話</td> <td>5744-1399</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部	教育総務課施設担当		課長氏名	石井 一雄	電話	5744-1430	担当者名	舟木	電話	5744-1399
担当課	教育総務部	教育総務課施設担当											
課長氏名	石井 一雄	電話	5744-1430										
担当者名	舟木	電話	5744-1399										

【2】子育て・教育（9）

<p>事業名</p>	<p>羽田中学校の改築</p>														
<p>予算額</p>	<p>15億690万円</p>														
<p>事業のねらい</p>	<p>生徒の学習環境の充実を図るため、平成20年度からの改築を引き続き進めます。改築工事期間中は、既存校舎・体育館を使用して授業を行い、新校舎完成後、校庭の整備とプールの改築を行います。なお、本校の改築にあたっては、太陽光パネルの設置等、環境に配慮した学校づくりを進めます。</p>														
<p>事業概要</p>	<p>1 施設の概要 所在地：東糀谷 6-10-12 改築規模：校舎・体育館＝鉄筋コンクリート造地上5階建て 延べ床面積：9,924 m² プール＝鉄筋コンクリート造、水槽部 25m×13m、6コース</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="0" data-bbox="678 772 1412 952"> <tr> <td>平成20年度～22年度</td> <td>校舎改築工事</td> </tr> <tr> <td>平成22年度～23年度</td> <td>プール改築、校舎解体工事</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>太陽光パネル設置工事</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>外構工事</td> </tr> </table> <p>3 改築予算（平成22年度）</p> <table border="0" data-bbox="454 1008 1284 1142"> <tr> <td>(1) 校舎改築工事・太陽光パネル設置工事</td> <td>14億1,157万円</td> </tr> <tr> <td>(2) 工事監理委託等</td> <td>723万円</td> </tr> <tr> <td>(3) プール改築工事等</td> <td>8,810万円</td> </tr> </table>	平成20年度～22年度	校舎改築工事	平成22年度～23年度	プール改築、校舎解体工事	平成22年度	太陽光パネル設置工事	平成23年度	外構工事	(1) 校舎改築工事・太陽光パネル設置工事	14億1,157万円	(2) 工事監理委託等	723万円	(3) プール改築工事等	8,810万円
平成20年度～22年度	校舎改築工事														
平成22年度～23年度	プール改築、校舎解体工事														
平成22年度	太陽光パネル設置工事														
平成23年度	外構工事														
(1) 校舎改築工事・太陽光パネル設置工事	14億1,157万円														
(2) 工事監理委託等	723万円														
(3) プール改築工事等	8,810万円														
<p>問合先</p>	<table border="1" data-bbox="363 1151 1433 1281"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">教育総務部 教育総務課施設担当</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>石井 一雄</td> <td>電話</td> <td>5744-1430</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>(建築)星野 (電気)川添</td> <td>電話</td> <td>5744-1400</td> </tr> </table>	担当課	教育総務部 教育総務課施設担当			課長氏名	石井 一雄	電話	5744-1430	担当者名	(建築)星野 (電気)川添	電話	5744-1400		
担当課	教育総務部 教育総務課施設担当														
課長氏名	石井 一雄	電話	5744-1430												
担当者名	(建築)星野 (電気)川添	電話	5744-1400												

【2】子育て・教育（10）

<p>事業名</p>	<p>(仮称) 入新井図書館の開設準備 新規</p>						
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">1 億 2, 3 4 2 万円</p>						
<p>事業の ねらい</p>	<p>現在進行中の(仮称)大森北一丁目開発において整備される複合施設に設置します。この開発は大森駅周辺のまちの賑わいを創出することをコンセプトにしており、本館もこれに寄与すべく、地域や利用者にとって魅力的で広く活用される図書館を目標に、平成 23 年 3 月の開館に向けて準備を進めます。</p>						
<p>事業概要</p>	<p>1 施設の概要 所在地：大森北一丁目 10 番 床面積：約 1,015 m² 4 階部分</p> <p>2 スケジュール 平成 23 年 3 月開館（予定）</p> <p>3 開館準備予算（主な内訳）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・図書館事業費（図書の購入等）</td> <td style="text-align: right;">7,118 万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・システム経費（システム導入・リース等）</td> <td style="text-align: right;">328 万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・施設運営費等（閲覧用椅子の購入等）</td> <td style="text-align: right;">4,896 万円</td> </tr> </table>	・図書館事業費（図書の購入等）	7,118 万円	・システム経費（システム導入・リース等）	328 万円	・施設運営費等（閲覧用椅子の購入等）	4,896 万円
・図書館事業費（図書の購入等）	7,118 万円						
・システム経費（システム導入・リース等）	328 万円						
・施設運営費等（閲覧用椅子の購入等）	4,896 万円						
<p>問合先</p>	<p>担当課 教育総務部 大田図書館</p>						
	<p>課長氏名 平野 秀康 電話 3 7 5 8 - 3 4 7 1</p>						
	<p>担当者名 川上 電話 3 7 5 8 - 3 4 7 1</p>						

【2】子育て・教育（11）

<p>事業名</p>	<p>伊豆高原学園の再整備 新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">7, 9 9 7 万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>昭和 42 年 9 月に開設した伊豆高原学園は、築後 40 年以上が経過し老朽化が進んでいます。このため、学習機能の充実と学校未利用期間の区民利用に配慮した新たなコンセプトの基に再整備を行います。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 現施設の概要 所在地：静岡県伊東市八幡野 1154-3（延床面積：約 3,514 m²）</p> <p>2 スケジュール 平成 22 年度～平成 23 年度 改築基本・実施設計、解体設計、解体工事 平成 24 年度～平成 26 年度 解体・改築工事、開設準備</p> <p>3 主な予算（平成 22 年度） 改築・解体工事設計委託費 6,761 万円 代替候補施設（現 伊豆高原荘）耐震診断業務委託 1,050 万円</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 教育総務部 校外施設整備担当課（学務課）</p>
	<p>課長氏名 星 光吉 電話 5 7 4 4 - 1 7 0 5</p>
	<p>担当者名 土屋 電話 5 7 4 4 - 1 7 0 6</p>

【2】子育て・教育（12）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺</p> <p style="text-align: center;">学校支援地域本部</p> <p style="text-align: center;">（（仮称）スクールサポートおおた）</p> <p style="text-align: right;">新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">288万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>地域が“学校の応援団”として学校教育活動に関わり、「家庭、学校、地域」が一体となって学校教育を支える地域主体の組織の立ち上げを支援します。</p> <p>これにより、子どもたちの教育がより豊かなものとなり、学校支援の活動を通して地域の絆がより強まることが期待されます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>学校の周辺住民、児童又は生徒の保護者、学校を支援しようとする方で構成する学校支援地域本部を組織します。本部は、学校長の求めに応じ、学校の児童・生徒を対象とした支援活動を行います。</p> <p>また、学校長の依頼を受けて学校支援ボランティアとの連絡調整を行うコーディネーターを設置します。</p> <p>予算事業名：学校支援地域本部事業</p> <p>予算額内訳：コーディネーター謝礼 216万円（6校） ボランティア活動費 72万円（6校）</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 教育総務部 社会教育課</p>
	<p>課長氏名 榎田 隆一 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 6</p>
	<p>担当者名 松木 電話 5 7 4 4 - 1 4 4 3</p>

(3) 安全・安心

【3】安全・安心(1)

事業名	 駅周辺混乱防止対策事業（駅前滞留者対策） 新規
予算額	792万円
事業のねらい	大地震の発生によって蒲田駅周辺で生じる混乱に備え、地域や関係事業者等からなる対策推進協議会を設立し、地域の行動ルールの策定やこれに基づいた混乱防止訓練に取り組みます。その結果を検証し、次の訓練へとつなげていくことにより周辺地域の防災力向上を図ります。
事業概要	1 訓練場所 蒲田駅東口・西口、京急蒲田駅周辺 2 訓練の位置づけ 大田区総合防災訓練の課題対応訓練として実施 3 スケジュール 第1回協議会の開催 平成22年 4月 訓練説明会の開催 平成22年 11月 駅周辺混乱防止対策の実施 平成22年 12月初旬〈予定〉
問合先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 田中 教彦 電話 5744-1234
	担当者名 長沼 電話 5744-1236

【3】安全・安心(2)

事業名	 災害情報を伝える無線放送の更新
予算額	3億7,942万円
事業のねらい	導入から30年経過している防災行政無線（固定系）設備のデジタル化更新にあたり、難聴地域の解消や多媒体での自動情報発信に取り組み、より迅速かつ的確な災害関連情報の伝達体制を整備します。
事業概要	1 更新期間 平成22年度から平成24年度まで（3年間） 2 設備更新規模など (1) 親局設備の更新 1局 (平成22年度) (2) 全国瞬時警報システム（J-ALERT）との自動連携 (平成22年度) (3) 安全・安心メールシステムとの自動連携 (平成22年度) (4) 屋外拡声子局の新設 37局 (平成22年度) (5) 屋外拡声子局の更新 200局 (平成22～24年度)
問合先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 田中 教彦 電話 5744-1234
	担当者名 長沼 電話 5744-1236

【3】安全・安心（3）

事業名	「業務継続計画」策定調査委託 新規
予算額	788万円
事業のねらい	大地震が発生した場合、区が最優先で取り組むべき対策は救命救助等の各種応急復旧業務ですが、通常業務のなかでも、区民生活に重大な影響を及ぼすおそれがあることから、発災直後から継続して提供する必要性の高い業務も存在します。人的・物的資源の制約が生じる中で、これらの対応を円滑に進めるために、大田区業務継続計画（震災編）を策定します。
事業概要	「業務継続計画」策定調査委託 (1) 策定期間 1年間（平成22年度） (2) 主な内容 ア. 優先業務の洗い出し、分析、選定 地震による被災経験がある自治体の計画策定実績等を持つ事業者の参画を得て、効率的な作業による質の高い実効性ある計画を策定します。 イ. 震災対応ツールとしての電子マニュアルの整備 選定した業務について、対応手順を電子マニュアルにまとめます。
問合先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 田中 教彦 電話 5744-1234
	担当者名 長沼 電話 5744-1236

【3】安全・安心（4）

事業名	スケアード・ストレイト自転車安全教室事業 新規
予算額	131万円
事業のねらい	自転車走行中等に起こりうる交通事故を実際に再現し、危険を身近に感じてもらふことで、交通安全に対する意識を高め、事故のない安全・安心なまちづくりを目指します。
事業概要	スケアード・ストレイトとは「恐怖の直視」という意味です。主に区内の中学生や地域の方を対象に、スタントマンによる交通事故の再現を行い、受講者に交通事故の衝撃や恐怖を実感してもらいます。 また、実際に片手運転や2人乗り等の体験を通して、違反運転の危険性を認識してもらい、交通ルールやマナーを守ることがいかに大切で身を守ることにつながるかを学び、交通事故の減少に結び付けます。 実施予定回数：5回
問合先	担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課
	課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689
	担当者名 中村 電話 5744-1315

【3】安全・安心（5）

事業名	幼児用自転車ヘルメット購入助成事業
予算額	1,696万円
事業のねらい	平成20年6月の道路交通法改正により、幼児・児童（13歳未満）が自転車に乗るときはヘルメットを着用させることが保護者の努力義務となりました。そこで、区はヘルメットの購入費用の一部を助成することで、より一層、ヘルメット着用の普及促進を図り、転倒事故によるケガを防止します。
事業概要	<p>1 助成対象：区内在住の2歳から小学校就学前までの幼児（保護者） ※ 保護者とは幼児を保護監督している方となります。</p> <p>2 助成額：「SGマーク」付きのヘルメットを購入するとき、消費税込みの支払額から2千円を差し引いて購入できます。</p> <p>3 取扱場所：東京都自転車商協同組合大田区四支部連合会加盟の自転車店</p> <p>4 申請方法：申請書付きチラシに必要な事項を記載押印し、自転車店に申請者が持参します。</p> <p>5 助成限度：幼児一人につき、1回限りとなります。</p>
問合先	担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課
	課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689
	担当者名 中村 電話 5744-1315

事業名	橋梁の耐震性の向上
予算額	7億3,506万円
事業のねらい	<p>区が管理する橋梁の中で、災害時の緊急道路障害物除去路線や鉄道を^{また}跨ぐ橋梁等、防災上重要な橋梁は、計画的に架替・耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを進めます。</p>
事業概要	<p>1 耐震補強整備事業</p> <p>(1) 鉄道事業者と大田区との間で協定等を締結し、区が管理している橋梁のうち、鉄道敷に架かる3橋の耐震補強工事及び4橋の耐震補強設計委託を行います。</p> <p>工事：薬師跨線人道橋、町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋 （東海道線、京浜東北線）</p> <p>設計：西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋（横須賀線、新幹線） 道々女木橋、（都営地下鉄線）、清水窪歩道橋（目黒線）</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 伊藤 廉 電話 5764-0679 担当者名 直井 電話 5764-0724</p> <p>(2) 大森東避難橋耐震整備工事</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0689 担当者名 里見 電話 5764-0704</p> <p>2 架替整備事業</p> <p>(1) 八幡橋架替工事</p> <p>(2) 仲ノ橋架替工事</p> <p>(3) 新馬込橋架替工事詳細設計委託</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0689 担当者名 里見 電話 5764-0704</p>

【3】安全・安心（7）

事業名	がけ等整備事業 新規
予算額	5,828万円
事業のねらい	区内のがけ等の実態調査を行い、崩壊の危険性の有無を把握するとともに、改善指導の基礎資料とし、がけ崩れ災害を未然に防止することに役立てます。 また、災害に強いまちづくりを目指すために、危険ながけ等の整備工事にかかわる費用の一部を直接助成し、区民の生命や財産を守ります。
事業概要	<p>【がけ等実態調査委託】 3,985万円 区内の高さ2メートルを超えるがけ・擁壁の実態を2か年で調査し、改善指導や改善整備資金の支援を行う際の基礎資料とします。</p> <p>【がけ等整備工事助成事業】 1,800万円 地震、台風及び集中豪雨等に伴うがけ崩れ災害に備えて、区内の高さ2mを超える危険ながけ等の所有者に対し、整備工事に要する経費の3割以内、300万円を上限額として助成します。</p>
問合先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課
	課長氏名 黒澤 明 電話 5744-1341
	担当者名 倉 電話 5744-1349

【3】安全・安心（8）

事業名	区営住宅耐震補強事業 新規
予算額	1億6,265万円
事業のねらい	地震による建物の倒壊等による被害を最小限にとどめるために、耐震改修工事を行います。
事業概要	<p>西六郷三丁目アパート1号棟 建物規模 SRC造 7階建 48戸 (みどり保育園併設) 敷地面積 4803.50㎡ 延床面積 4069.57㎡ アパートについては、居住しながら作業が可能な建物の外側を補強する工法を採用します。 平成22・23年度の債務負担行為で23年度は、1億2,811万円です。</p>
問合先	担当課 まちづくり推進部 住宅課
	課長氏名 外崎 光生 電話 5744-1342
	担当者名 大西・武井 電話 5744-1343

(4) 産業・環境

【4】産業・環境(1)

事業名	新製品・新技術開発支援事業
予算額	9,094万円
事業のねらい	区内の中小企業者が取り組む新製品・新技術開発に要する経費の一部を支援します。区内中小企業の技術力、製品開発力の向上を図り、オンリーワン技術による競争力強化、付加価値を生み出すものづくり産業の活性化を推進します。
事業概要	<p>(1)開発スタート助成 対象：創業間もない企業や開発型企業への転換をめざす中小企業者 限度額：200万円 補助率：2/3</p> <p>(2)開発ステップアップ助成 開発型企業の経費は、開発初期段階から最終段階に至るまで、投資経費の額が異なります。 今回、上限1,000万円枠に加え、上限額500万円枠を設定し、開発段階に応じた仕組みを整え、幅広い企業の開発力向上を支援します。 対象：企業の成長につながる新製品・新技術の開発、環境・医療福祉分野等社会的な課題解決につながる開発に取り組む中小製造業者 限度額：1,000万円及び500万円 補助率：2/3</p>
問合先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者名 山本 電話 3733-6183

【4】産業・環境（2）

<p>事業名</p>	<p>区内工場立地・操業環境整備助成事業 新規</p>
<p>予算額</p>	<p>9, 119万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>区内のものづくり企業は、景況の悪化や後継者不在等による工場閉鎖や廃業に加え、周辺の環境の変化によって、事業拡張や設備投資が難しくなっています。区内工場数の減少を食い止め、産業競争力を培うため、ものづくり企業者による区内工場の新增設や工場内整備、区外企業が大田区へ立地する際の支援を実施します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 大田区企業立地促進計画による支援【レベルアップ】 区の強みであるものづくり企業の集積の再構築を図り、経済の活性化につなげます。</p> <p>2 貸工場・工業用地マッチング事業【継続】 宅地建物取引業者と提携し、区内操業を希望する企業のニーズに合った物件情報を提供します。</p> <p>3 モノづくり工場立地助成【継続】 対 象：工場の新設、増設、移転、工場内の整備など 対象業種：区が指定する製造業 補 助 率：1/4 限 度 額：1,000万円</p> <p>4 コミュニティ創出型工場集合化支援事業（コーポラティブファクトリー推進事業）【レベルアップ】 民間活力を生かしながら、地域に溶け込み、魅力ある次世代型の小規模集合工場の設置をコーポラティブ方式で進めるため、民間コーディネーターの活動費用の一部を助成します。立地企業は、モノづくり工場立地助成を活用することができます。</p> <p>5 ものづくり工場基盤施設整備助成 新規 工場アパート等のものでづくりの基盤施設で、一定の要件をみたす施設を整備する民間企業の施設整備費の一部を助成します。</p>
<p>問合先</p>	<p>担当課 産業経済部 産業振興課</p> <p>課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127</p> <p>担当者名 山本 電話 3733-6183</p>

【4】産業・環境（3）

事業名	 次世代ものづくり人材育成事業 新規
予算額	1, 945万円
事業のねらい	<p>ものづくり産業の担い手の育成・確保に関わる事業を統合し、事業実施を社団法人大田工業連合会に委託します。連合会の機動力とネットワークを生かし、次世代のものづくり産業を担う人材の育成を効果的に実施します。</p>
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 経営技術指導講習会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 技術指導講習会 <ol style="list-style-type: none"> ① やさしい図面の見方 ② CAD製図 ③ NCプログラミング ④ フライス盤 (2) 新入社員セミナー (3) 次世代経営者育成セミナー 2 工業団体実地研修会助成 3 工業団体向け講師派遣研修会 4 子ども向け人材育成事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 産業のまちスクール (2) ものづくり実践教室（ロボット教室） 5 ものづくり人材育成プロジェクト 新規 6 人材育成情報・行政情報の広報
問合せ先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者名 山本 電話 3733-6183

【4】産業・環境（4）

事業名	国内市場の販路開拓
予算額	5,319万円
事業のねらい	長期にわたる景気低迷により仕事量が低減したままの区内企業の状況を打開するため、取引拡大につながる市場開拓の支援を実施します。
事業概要	<p>1 受発注相談充実 3,127万円（充実分 576万円） 「商談会」参加費を無料化し、参加企業の増加を図る等、商談機会を増やし成約率を高めます。また、発注開拓活動を強化し、成長が期待される環境分野やエネルギー分野等の市場開拓活動の充実を図ります。</p> <p>2 国内見本市充実 2,192万円（充実分 227万円） 新製品・新技術コンクールの受賞企業が参加する展示会を増加（3⇒4 展示会）させ、区内企業の製品や技術のPR機会を拡大します。</p>
問合先	<p>担当課 産業経済部（財団法人 大田区産業振興協会）</p> <p>課長氏名 高月 茂 電話 3733-6145</p> <p>担当者名 上原 電話 3733-6404</p>

【4】産業・環境（5）

事業名	✚ 海外市場の販路開拓（中国東北部市場開拓調査等） 新規
予算額	3,016万円
事業のねらい	世界的な景気低迷が続く中であって、順調に成長を遂げるアジア市場に向けた区内企業の販路開拓を支援します。
事業概要	<p>1 海外取引相談充実 1,996万円（充実分 669万円） (1) 中国市場を東北・華東・華南の3地域に分けて、区内企業に対して地域の特徴を踏まえた情報提供と市場開拓の支援を行います。 (2) 中国東北部(大連市)で市場開拓調査を行い、区内企業とのマッチングを進めます。(202万円) 新規 (3) タイをはじめ ASEAN の市場調査及びビジネスマッチングの支援を充実します。</p> <p>2 海外見本市充実 1,020万円（充実分 372万円） 中国の展示会を上海から香港に移し、華南地域の市場開拓を展開するとともに、大連においても区内工業団体と連携して工業展示会へ出展します。さらに、タイの展示会では取引拡大のための企業交流活動を活発化させる等、市場開拓の支援を充実します。</p>
問合先	<p>担当課 産業経済部（財団法人 大田区産業振興協会）</p> <p>課長氏名 高月 茂 電話 3733-6145</p> <p>担当者名 上原 電話 3733-6404</p>

【4】産業・環境（6）

事業名	☺☺☺ 大田区ものづくり優秀技能者表彰「大田の工匠100人」
予算額	296万円
事業のねらい	従業者数が3人以下の企業の腕利き職人に焦点をあて、優秀な技能を有し、他の模範となる職人を5年間で100人「大田区ものづくり優秀技能者（大田の工匠100人）」として表彰し、その技能の継承及び後継者の育成を支援します。
事業概要	区内製造業者のうち、従業者数が3人以下の企業に従事する人で、次の要件をすべて満たす人を対象とします。 (1)現在、区内製造業でものづくりの業務に従事している者 (2)ものづくりにおいて、特に優れた技能を有し、他の技能者の模範となる者 (3)過去にこの表彰を受けていない者 募集：9月1日から10月30日（予定） 表彰式：大田区加工技術展示商談会会場 日時：平成22年7月（予定） 主催：財団法人大田区産業振興協会
問合せ先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者名 山本 電話 3733-6183

【4】産業・環境（7）

事業名	☺☺☺ 商店（飲食店）表彰制度 新規
予算額	340万円
事業のねらい	区内の優良で個性的な飲食店を表彰します。表彰された飲食店をPRし、個店の士気高揚並びに区内商業の活性化を図ります。また、羽田空港の国際化に伴う区外からの来訪者を区内に集客・回遊させる効果もねらいます。
事業概要	（仮称）大田区イチオシ飲食店表彰制度（新規事業） 優良で個性的な飲食店を募集し、有識者らで構成する審査会により、10店舗を表彰します。 表彰飲食店を紹介するパンフレット・DVDを作成し、羽田空港内、区内各駅・ホテル等に配布・展示して、広くPRします。
問合せ先	担当課 産業経済部 （財団法人 大田区産業振興協会）
	課長氏名 吉岡 秀典 電話 3733-6435
	担当者名 大橋 電話 3733-6476

【4】産業・環境（8）

事業名	 商店街景観整備事業
予算額	572万円
事業のねらい	地域特性を踏まえ、歴史や文化、近隣住民の意向を取り入れながら、にぎわいと活気、コミュニティ空間としての商店街の機能の充実を図ります。
事業概要	旧東海道周辺のミハラ通り沿い4商店街（大森本町ミハラ通り北商店会、大森ミハラ通り仲町商店会、ミハラ南商店街振興組合、するがや通り商店会）のファサード整備（外観デザイン）を行うため、地域と連携した協議会（旧東海道大森まちづくり協議会）による実施設計の策定に対して補助を行います。
問合先	担当課 産業経済部 産業振興課
	課長氏名 石井 芳明 電話 3733-6127
	担当者名 栗林 電話 3733-6184

事業名	 河川水質浄化対策
予算額	1億4,400万円
事業のねらい	<p>呑川の再生と緑豊かな潤いある水辺空間の創出のために、呑川流域全体の水質浄化に取り組みます。</p> <p>河川対策では新たな水質浄化に取り組むため、水質浄化システムの研究開発を行います。事業の推進にあたっては、地元企業や大学等の専門的な研究機関等と協働して取り組みます。</p> <p>流域対策では、下水道へ雨水が流入する量を減らすことで、河川に流れ出る下水の量を削減するために、透水性舗装や雨水浸透柵の設置を行います。</p>
事業概要	<p>1 河川対策：呑川水質改善検討委託 7,245万円 水質浄化効果の高い新たな対策手法の検証や水質浄化システム研究開発のための実験を行います。 なお、大学と協働で実施している汚濁メカニズムの調査等の研究を継続し、水質浄化システムの研究・開発・試作機の製作等に反映させます。</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 都市基盤管理課 課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689 担当者名 明立 電話 5744-1304</p> <p>2 流域対策：透水性舗装工事、雨水浸透柵の整備 7,155万円 呑川・内川流域の雨水を地下に浸透させ、下水道に流入する汚水の量を減らし、河川に流れ出る下水の量を削減します。</p> <p>対策の概要：透水性舗装、雨水浸透柵整備 問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0689 担当者名 石橋 電話 5764-0725</p> <p>対策の概要：各地域における道路維持補修での雨水浸透柵整備 問合せ先 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課 課長氏名 杉村 由美 電話 5764-0626 担当者名 寺林 電話 5764-0631</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課 課長氏名 小出 和男 電話 3726-4319 担当者名 中野 電話 3726-4303</p>

【4】産業・環境（10）

事業名	 （仮称）壁面アートの実施（架道橋壁面美化） 新規
予算額	340万円
事業のねらい	鉄道事業者の協力を得て、架道橋壁面にアート（絵）等を描き、落書き防止と地域の環境改善に向けた壁面美化整備事業に取り組みます。
事業概要	潤いのあるまちなみをつくるため、道路に面し汚れが目立ち暗い印象を与えている架道橋壁面に、地域の小学校児童などの協力を得てアート（絵）を描き、明るく安心して通行できる道路に一新させる壁面美化整備工事に着手します。 区内で架道橋が一番多い調布地区において1か所実施します。
問合せ先	担当課 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課
	課長氏名 小出 和男 電話 3726-4319
	担当者名 中野 電話 3726-4303

【4】産業・環境（11）

事業名	 大田区環境基本計画の策定 新規
予算額	947万円
事業のねらい	大田区環境基本計画は、未来の世代に良好な環境を継承するための施策を立案し、着実に実行していくことを目的にした計画です。本計画を策定し、計画的かつ総合的に施策を実施することにより、大田区環境基本条例（平成21年度策定予定）で掲げる区の環境像の実現を目指します。
事業概要	1 環境基本計画の策定 ① 庁内検討会の開催 ② 大田区環境審議会の運営 ③ 環境基本計画の策定支援業務委託 2 スケジュール 平成22～23年度で、大田区の現状分析や、区民等の意向を踏まえた環境課題の抽出を行い、目標を明確にしたうえで本計画を策定します。 平成22年度は、アンケート調査を実施し、庁内検討会、環境審議会で検討します。
問合せ先	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 東平 眞明 電話 5744-1361
	担当者名 吉田 電話 5744-1362

【4】産業・環境（12）

事業名	 エコライフの普及（助成）
予算額	1 億 1, 6 3 5 万円
事業のねらい	地球温暖化問題を解決するためには、区民一人ひとりの取り組みがとても重要です。太陽エネルギー利用機器や省エネルギー機器を設置する区民に対して、その経費の一部を助成することで自然エネルギーの積極的活用と省エネ生活の推進を図ります。
事業概要	1 太陽エネルギー利用機器設置補助事業 ①太陽光発電システム 70,000 円/kw 上限 70 万円 ②太陽熱温水器 9,000 円/m ² 上限 10 万円 ③太陽熱ソーラーシステム 16,500 円 上限 20 万円 2 省エネルギー機器設置補助事業 ①省エネナビ 10,000 円または、購入費の 1/2 のいずれか低い方 ②潜熱回収型給湯器(エコジョーズ) 定額 40,000 円 ※新規項目
問合先	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 東平 眞明 電話 5 7 4 4 - 1 3 6 1
	担当者名 吉田 電話 5 7 4 4 - 1 3 6 2

【4】産業・環境（13）

事業名	 緑化の推進												
予算額	1,356万円												
事業のねらい	<p>大森地域庁舎に「緑のカーテン」を設置し、育成・管理にあたってのノウハウや得られる効果について検証するとともに、区民に対して緑化推進のアピールを拡充します。</p> <p>また、地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和、下水道への急激な雨水の流入による都市型洪水を抑制するため、屋上・壁面緑化に対して助成を行います。これまで住宅に限っていた対象建築物を、共同住宅に付随した店舗や工場等にも広げ、緑化の普及を促進します。</p>												
事業概要	<p>1 緑のカーテン普及事業 256万円</p> <p>大森地域庁舎南側壁面の一部に「緑のカーテン」を設置し、育成・管理のノウハウや室内温度の変化、電気料金の変化等の効果について検証します。また、大森地域庁舎は電車や道路から良く見える立地であるため、区が実施している地球温暖化対策の具体例として区民に対してアピールしていきます。</p> <p>2 屋上・壁面緑化助成 1,100万円</p> <p>区内の住宅用建築物の屋上・バルコニー・外壁を直射日光遮断の目的で緑化しようとする場合、その工事費の一部を助成します。</p> <p>1 助成額：所要経費の1/2</p> <p>2 助成限度額 1㎡あたり2万円、総額で50万円</p> <p>3 助成条件</p> <p>① 面積が1㎡以上であること</p> <p>② 年間を通して緑が維持できる植栽であること</p> <p>③ 最低5年間は緑を維持できること</p> <p>※営利・営業目的のもの、法令等で屋上緑化等が義務付けられているもの、建築基準法等の法令に違反している建築物に施工しようとするものは助成対象外</p>												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">環境清掃部 環境保全課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>東平 眞明</td> <td>電話</td> <td>5744-1361</td> </tr> <tr> <td>担当者名</td> <td>中谷</td> <td>電話</td> <td>5744-1365</td> </tr> </table>	担当課	環境清掃部 環境保全課			課長氏名	東平 眞明	電話	5744-1361	担当者名	中谷	電話	5744-1365
担当課	環境清掃部 環境保全課												
課長氏名	東平 眞明	電話	5744-1361										
担当者名	中谷	電話	5744-1365										

【4】産業・環境（14）

事業名	士 羽田空港航空機内陸飛行騒音調査委託 新規
予算額	1,703万円
事業のねらい	羽田空港で、航空機内陸飛行が実施されるようになり、内陸部に新たな航空機騒音の問題が発生していることから、航空機騒音の影響を調査し、騒音低減対策等の基礎資料とします。
事業概要	<p>内陸飛行の影響を受けていると思われる5調査地点で、第4滑走路の供用開始に伴う影響を調べるため、航空機騒音調査を実施します。</p> <p>調査回数 2回（連続7日間計測） 調査時期 第4滑走路の供用開始前及び供用開始後</p>
問合先	担当課 環境清掃部 環境保全課
	課長氏名 東平 眞明 電話 5744-1361
	担当者名 藤嶋 電話 5744-1367

【4】産業・環境（15）

事業名	緊急雇用対策事業
予算額	1億205万円
事業のねらい	景気後退と企業業績の落ち込みが続き、雇用情勢もいまだ改善の兆しが不透明な状況のなか、大田区では、平成20年度から実施している緊急雇用対策事業を継続し、雇用環境の改善に務めます。
事業概要	<p>1 臨時職員の採用 1,827万円 216人・月の雇用を創出（36人×6か月）</p> <p>2 委託事業実施による雇用創出 8,378万円 臨時的雇用（6か月以内）20人分 ・高齢者福祉施策調査 ・糀谷羽田地区自転車駐車場整理 ・（仮称）東糀谷四丁目公園パトロール ・区内がけ擁壁実態調査 継続的雇用（原則12か月）5人分 ・大森地区及び蒲田地区駅周辺放置自転車指導</p>
問合先	担当課 1 経営管理部人事課 2 産業経済部産業振興課
	課長氏名 1 勢古勝紀 5744-1151 2 石井芳明 3733-6127
	担当者名 1 指田 5744-1152 2 渡部 3733-6181

(5) 文化・観光

【5】文化・観光(1)

事業名	 大田区総合体育館の建設
予算額	23億2,253万円
事業のねらい	平成22年度は、地下及び地上部分の躯体を施工する予定です。 新体育館は、区民がスポーツを「する」楽しみに加え、トップアスリートの試合を「みて」楽しめる施設にします。観客席を4,000席整備し、羽田空港から近い地の利を活かして、国際試合や全国大会等を誘致します。
事業概要	<p>1 施設の概要</p> <p>(1)建設地 東蒲田一丁目11番</p> <p>(2)敷地面積 約8,589㎡ (3)延床面積 約13,970㎡</p> <p>(4)構造等 地上2階地下2階</p> <p>2 建設スケジュール概要(予定)</p> <p>(1)平成21年7月着工 (2)平成24年3月竣工</p> <p>3 建設予算(平成22年度)</p> <p>(1)建築工事費 22億9,280万円 (2)工事監理委託費等 2,973万円</p>
問合先	担当課 教育総務部 社会教育課
	課長氏名 榎田 隆一 電話 5744-1446
	担当者名 北村 電話 5744-1448

【5】文化・観光（2）

事業名	 おおたの観光魅力創出事業
予算額	7,281万円
事業のねらい	大田区内の自然や名所旧跡、商店街、ものづくり技術等、大田区ならではの数多くある魅力を掘り起こし、これらを周遊するにあたっての利便性を高める案内サインを整備します。散策ツアーの実施やマップの作成、ホームページの設営など、大田観光協会が実施するおおたの魅力創出事業や観光情報の提供事業を支援します。
事業概要	<p>1 来訪者が大田区の魅力を楽しめるよう、東京ひとり歩きサイン(都補助金)を活用し、観光案内サインを設置します。2,835万円</p> <p>2 おおたの観光魅力創出事業 2,864万円 いきいき大田写真コンクール事業、おおた商い観光展への出展、大田再発見ツアーの企画・実施、ものづくりツアー実態調査、品川・大田地域による広域観光まちづくり事業 等</p> <p>3 観光情報の提供 1,582万円 ホームページの管理運営、観光情報誌・観光マップの作成 等</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者名 印牧(かねまき) 電話 3733-6190

【5】文化・観光（3）

事業名	 新国際線ターミナル内 インフォメーションコーナーの設置・運営 新規
予算額	273万円
事業のねらい	羽田空港の国際化を機に、大田区の観光と産業を内外からの来訪者にアピールするため、新国際線ターミナル内にインフォメーションコーナーを設置します。
事業概要	<p>概要</p> <p>(1) 開設場所 東京国際空港国際線旅客ターミナルビル2階 国際線到着ロビー 約7.3㎡</p> <p>(2) 開設予定 平成22年10月</p> <p>(3) 内容 区内への誘客を促す観光・産業情報を提供します。</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者名 印牧(かねまき) 電話 3733-6190

(6) 魅力ある地域づくり

【6】魅力ある地域づくり(1)

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 団体支援とネットワークの強化 新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">3,080万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>連携・協働が推進される仕組みづくりを行い、地域ネットワークの強化や地域に協働事業を広げるきっかけづくりを積極的に進め、地域力を高めます。 地域力応援基金助成事業や協働推進講師派遣事業、区民活動情報サイトの整備を進めます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 地域力応援基金助成事業 地域力応援基金を活用し、区民活動を資金面から支援することを目的として、地域力の発掘・活性化を進めます。 (1) スタートアップ助成 初めての助成金—区民活動団体の「はじめの一步」を応援します！ 補助率 8/10 助成額：新規—10万～50万円 継続1年—10万～30万円 (2) ステップ・ジャンプアップ助成 地域の人たちが地域のために行う事業を応援します！補助率 10/10 募集・審査は22年度、23年4月からの事業開始を予定しています。 ①ステップアップ助成 事業テーマは各団体のオリジナルテーマで募集します。 助成額：新規—50万～300万円 継続1年—50万～200万円 ②ジャンプアップ助成 事業テーマは区から提示し、区の課題を担っていただける団体を募集します。 助成額：新規—400万円 継続1年—400万円</p> <p>2 協働推進講師派遣事業 自治会・町会やNPO等区民活動団体が実施する事業の中で、協働の視点を持った事業に対し講師を派遣します。 派遣回数 (1) 自治会・町会からの要望による派遣 6回 (2) 区民活動団体の要望による派遣 4回</p> <p>3 区民活動情報サイトの整備 新規 地域の中で活動している区民活動団体の情報をWebサイト等で提供し、地域デビューや団体間の連携・協働を進めます。 自治会・町会や事業者、団体・NPOが発信する情報や、地域の区民活動に関する有益な情報を集約し、活動目的や地域ごとにWebサイト上で情報が入手できるようにします。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 地域振興部 地域振興課 区民協働担当 課長氏名 竹村 一也 電話 5744-1692 担当者名 須山 電話 5744-1204</p>

【6】魅力ある地域づくり（2）

<p>事業名</p>	<p style="text-align: center;">協働支援施設の運営</p> <p style="text-align: center;">((仮称) 区民活動支援センターの新設等) 新規</p>
<p>予算額</p>	<p style="text-align: center;">1, 673万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>区民活動を支援する機能を持った施設を整備し、その活用を推進することで、福祉、環境、まちづくり、国際交流等公益価値の創造につながる活動や地域の社会的活動を推進し、地域力を高めます。</p> <p>大田区区民活動支援施設こらぼ大森の充実や協働プロジェクトの実施、(仮称) 区民活動支援センターの新設を行います。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 こらぼ大森の充実</p> <p>大森地区の地域力をさらに育むとともに、大田区の連携・協働を推進するために、場の提供を行うと共に、相談業務をより充実させ、講座やワークショップなど、人が集うための事業を充実します。</p> <p>2 協働プロジェクト</p> <p>こらぼ大森を活かした連携・協働を推進し、区民が地域で活躍できるステージづくりを進めるため、こらぼ大森を拠点とする公益的プロジェクト事業を大田区が事業委託します。</p> <p>(1) 委託事業数 継続事業 5テーマ (2) 委託上限額 100万円</p> <p>3 (仮称) 区民活動支援センターの新設 新規</p> <p>区民活動の拠点ー(仮称)区民活動支援センターを蒲田地区に新設し、活動している区民活動団体やNPO、これから活動を始めようとしている区民、団体等の連携・協働を総合的に支援します。</p> <p>(1) 開設予定場所 消費者生活センター内 (2) スペース 事務・交流室1 多目的室1 教室1 (3) 人員配置 コーディネーター等の配置</p>
<p>問合せ先</p>	<p>担当課 地域振興部 地域振興課 区民協働担当</p> <p>課長氏名 竹村 一也 電話 5744-1692</p> <p>担当者名 須山 電話 5744-1204</p>

【6】魅力ある地域づくり（3）

事業名	☺☺☺ 萩中集会所の改築
予算額	4億2,187万円
事業のねらい	施設の老朽化が進んでいるため、萩中公園内の隣接地（ガラクタ公園部分）に建替えます。バリアフリーに配慮したシルバールームとキッズルームを併設し、200人規模の会議が可能となる集会室を設置するなど、機能の拡充を図ります。
事業概要	<p>1 改築の概要</p> <p>(1)改築予定地 萩中三丁目25番</p> <p>(2)敷地面積 約64,114㎡ (3)延床面積 約13,823㎡</p> <p>(4)構造等 鉄筋コンクリート造・地上2階 地下1階</p> <p>2 改築スケジュール概要</p> <p>(1)平成21年6月 実施設計 (2)平成22年6月 着工</p> <p>(3)平成23年10月 竣工・新集会所サービス開始予定</p> <p>3 改築予算</p> <p>建築工事費 4億2,187万円</p>
問合先	<p>担当課 地域振興部 羽田特別出張所</p> <p>課長氏名 白鳥 信也 電話 3742-1411</p> <p>担当者名 吉川 電話 3742-1411</p>

【6】魅力ある地域づくり（4-1）

事業名	☺☺☺ 大森東特別出張所の改築
予算額	2億5,011万円
事業のねらい	大森東特別出張所の老朽化に伴い、移転改築を行います。地域を支える拠点として、地域の方の利便性を図るため会議室を充実させます。併せて、防災拠点としての役割を拡充します。
事業概要	<p>1 改築の概要</p> <p>(1)改築予定地 大森南四丁目9番 (2)敷地面積 約1,000㎡</p> <p>(3)延床面積 約900㎡ (4)構造等 鉄筋コンクリート造・地上2階</p> <p>2 改築スケジュール</p> <p>(1)平成20年8月 実施設計 (2)平成21年7月 着工</p> <p>(3)平成22年10月 竣工・移転</p> <p>3 改築予算</p> <p>(1)消耗品等 533万円 (2)工事費 2億4,478万円</p>
問合先	<p>担当課 地域振興部 大森東特別出張所</p> <p>課長氏名 浜口 和彦 電話 3741-8801</p> <p>担当者名 武藤 電話 3741-8801</p>

【6】魅力ある地域づくり（4-2）

事業名	 入新井特別出張所の改築 新規
予算額	4 2 8 万円
事業のねらい	建物の老朽化に伴い、現在仮庁舎において業務を行っている特別出張所を（仮称）大森北一丁目開発によって整備する複合施設に移転します。 区民の利便性とバリアフリーに配慮するとともに、地域開放型集会室の整備を図ります。
事業概要	1 出張所の概要 (1) 移転予定地 大森北一丁目 10 番 (8 階建ての 1 階・4 階の一部を賃借) (2) 延床面積 約 829.96 m ² 2 移転スケジュール (1) 平成 23 年 2 月竣工予定 (2) 平成 23 年 3 月移転予定 3 移転関係予算 (1) 消耗品・備品等 296 万円 (2) 庁舎移転経費 132 万円
問合せ先	担当課 地域振興部 入新井特別出張所 課長氏名 松橋 幸博 電話 3 7 6 1 - 5 3 0 3 担当者名 角田 電話 3 7 6 1 - 5 3 0 3

【6】魅力ある地域づくり（4-3）

事業名	 鶉の木特別出張所の改築
予算額	2 億 6 9 4 万円
事業のねらい	鶉の木特別出張所の老朽化に伴い、一時仮庁舎（大田区鶉の木一丁目 6 番）に移転のうえ、現庁舎の改築を行います。施設利用者の利便性とバリアフリーに配慮するとともに、地域の防災拠点としての機能強化を図ります。また、新設の（仮称）新鶉の木保育園を併設します。
事業概要	1 改築の概要 (1) 改築予定地 南久が原二丁目 30 番 (2) 敷地面積 約 1,178 m ² (3) 延床面積 約 903 m ² (建物全体約 1,692 m ²) (4) 構造・階数 鉄筋コンクリート造・地上 3 階・地下 1 階 2 改築スケジュール (1) 平成 22 年 9 月仮移転・本体着工予定 (2) 平成 24 年 3 月 竣工予定 3 改築予算 (1) 消耗品等 238 万円 (2) 仮庁舎リース料 4,071 万円 (3) 工事費 16,385 万円
問合せ先	担当課 地域振興部 鶉の木特別出張所 課長氏名 小泉 貴一 電話 3 7 5 0 - 4 2 4 1 担当者名 佐藤 電話 3 7 5 0 - 4 2 4 1

【6】魅力ある地域づくり（5）

<p>事業名</p>	<p>自転車駐車場の整備</p>
<p>予算額</p>	<p>3億864万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>緊急車両や歩行者等の通行の妨げになっている放置自転車対策として、自転車等駐車を整備し、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進します。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1（仮称）大森北一丁目開発による自転車等駐車場の開設 平成23年3月開館予定の（仮称）大森北一丁目開発ビル地階に区と民間の共同で、自転車等駐車を開設します。 (1)場 所 大森北一丁目10番 （仮称）大森北一丁目開発ビル地階 (2)収容台数 自転車 約950台、原付バイク40台 (3)駐車設備 電磁ロック式駐輪機、精算機 等</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課 課長氏名 杉村 由美 電話 5764-0626 担当者名 岡本 電話 5764-0630</p> <p>2 入新井西公園自転車等駐車場の拡張整備 入新井西公園の一部を活用して自転車等駐車を拡張します。 大森北一丁目39番</p> <p>3 多摩川駅前自転車等駐車場の整備 既存駐車場の隣接地を拡張整備します。 田園調布一丁目56番 約135台分の増設</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0689 担当者名 石橋 電話 5764-0725（入新井西） 内田 電話 3726-4306（多摩川駅）</p>

4 石川台駅付近の自転車等駐車場の整備

東急電鉄の^{のりめん}法面になっている土地を利用した自転車等駐車場の整備します。

東雪谷二丁目 11 番先・23 番先 約 165 台分の増設

問合せ先 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課

課長氏名 小出 和男 電話 3 7 2 6 - 4 3 1 9

担当者名 大場 電話 3 7 2 6 - 4 3 0 8

5 日本工学院専門学校地下自転車等駐車場の整備（建設負担金）

現在、日本工学院専門学校の建物内にある自動車駐車を自転車駐車場に改良するため、整備費を負担します。

平成 23 年 2 月竣工、平成 23 年 4 月供用開始予定

大田区西蒲田五丁目 24 番 約 1,100 台の増設（地下 2 階）

6 蒲田駅西口陸橋の耐震整備に伴う環八下自転車等駐車場の整備

蒲田陸橋の耐震補修工事に伴い、駐車を整備します。

大田区西蒲田八丁目 24 番先 約 500 台の増設

平成 22 年度 実施設計、平成 23 年度 建設予定

問合せ先 都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課

課長氏名 齋藤 浩一 電話 5 7 1 3 - 2 0 0 5

担当者名 貝塚 電話 5 7 1 3 - 2 0 0 4

7 京急穴森稲荷駅前民営自転車駐車場の整備（設置補助金）

民営設置運営の駐車場に補助金を負担します。 約 81 台の増設

問合せ先 都市基盤整備部 糎谷・羽田まちなみ維持課

課長氏名 青木 重樹 電話 3 7 4 1 - 3 1 5 4

担当者名 齋藤 電話 3 7 4 1 - 3 1 6 8

【6】魅力ある地域づくり（6）

事業名	☺☺☺ 桜のプロムナードの整備
予算額	4,558万円
事業のねらい	さわやかな水と緑の輝きや四季の変化を楽しみながら散策できる散策路として、洗足流れから馬込桜並木、内川に至る道路を整備するとともに、サインの設置、桜並木の桜再生（枯損木植替）を進めます。
事業概要	<p>1 整備工事の内容</p> <p>馬込桜並木（南馬込四丁目9番から六丁目22番先）の約530m区間について、施設の老朽化に伴うリニューアル整備を進めます。</p> <p>22年度は、3か年計画の第一期区間として125mのバリアフリー化や景観に配慮した改良工事に着手します。</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課</p> <p>課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0689</p> <p>担当者名 石橋 電話 5764-0725</p> <p>2 サイン整備検討</p> <p>桜のプロムナード（約12km）を対象として、現地調査、サイン整備基本計画の検討を行います。</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 都市基盤管理課</p> <p>課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689</p> <p>担当者名 明立 電話 5744-1304</p>

【6】魅力ある地域づくり（7）

事業名	士 臨海部散策路の整備 新規
予算額	527万円
事業のねらい	海老取川から臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、臨海部散策路の整備の基本設計を行い、関係機関と連携しながら整備を進めます。
事業概要	<p>臨海部散策路整備基本設計</p> <p>臨海部散策路のルート設定、概略設計を行います。</p>
問合せ先	<p>担当課 都市基盤整備部 建設工事課 臨海部基盤担当</p> <p>課長氏名 眞子 武久 電話 5744-1336</p> <p>担当者名 羽沢 電話 5744-1678</p>

【6】魅力ある地域づくり（8）

事業名	南前堀不法係留沈船撤去・処分及び係留防止材等撤去・ 新設工事 新規
予算額	2, 9 2 2万円
事業の ねらい	南前堀の所有者不明沈船等を撤去・処分します。また、不法係留防止のため、劣化した既存のオイルフェンス等を撤去・新設します。これら工事等により、良好な水辺の景観を維持し、魅力あるまちづくりを推進します。
事業概要	1 不法係留沈船等撤去・処分委託 南前堀の所有者不明の沈船等を撤去・処分します。 2 係留防止材等撤去・新設工事 首都高速横羽線の橋脚沿いに設置されている、オイルフェンス及び単管パイプの撤去・新設を行います。（両側約 600m）
問合先	担当課 都市基盤整備部 糺谷・羽田まちなみ維持課 課長氏名 青木 重樹 電話 3 7 4 1 - 3 1 5 4 担当者名 齋藤 電話 3 7 4 1 - 3 1 6 8

【6】魅力ある地域づくり（9）

事業名	 (仮称) メッセージベンチ事業 新規
予算額	3 2万円
事業の ねらい	メッセージベンチとは、結婚や出産、野球大会優勝等、さまざまな記念の思い出として、氏名やメッセージの入ったプレートが付けられたベンチのことです。 このメッセージの入ったベンチを区に寄付していただくことで、地域住民が緑道や公園をより身近に感じるきっかけづくりを行います。また、緑道や公園など、区民の憩いの場所にこの寄付を受けたベンチを設置し、地域に愛される魅力あるまちづくりを推進します。
事業概要	メッセージベンチの寄付者を募集するパンフレットを作成するとともに、制度設計を行います。 パンフレット作成 2,000部
問合先	担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課 課長氏名 杉村 克之 電話 5 7 4 4 - 1 6 8 9 担当者名 明立 電話 5 7 4 4 - 1 3 0 4

【6】魅力ある地域づくり（10）

<p>事業名</p>	<p>☺☺☺ 魅力ある公園のリニューアル</p>
<p>予算額</p>	<p>3億1,626万円</p>
<p>事業のねらい</p>	<p>地域の潤いとやすらぎの場として、公園や緑地等の魅力のさらなる向上をめざし、既存の設備のリニューアルに取り組みます。</p> <p>公園が安全で使いやすく、幅広い世代が交流できる場となるよう、バリアフリー化に取り組み、遊具や設備の更新を進めるとともに、防災機能の向上を図りながらリニューアルします。また、高齢者向けの健康遊具の設置を計画的に行います。このほか、魅力ある豊かな自然環境を確保するため、桜の樹木更新を行います。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 複合遊具改修・桜樹勢回復樹木更新・健康遊具設置</p> <p>大森まちなみ維持課管内 遊具改修 サンサン根岸児童公園、谷戸児童公園 調布まちなみ維持課管内 遊具改修 石川町二丁目児童公園、 久が原なかよし児童公園 桜樹勢回復整備 洗足池公園</p> <p>蒲田まちなみ維持課管内 遊具改修 西六郷一丁目児童公園、南六郷公園 健康遊具設置 矢口二丁目公園</p> <p>糺谷・羽田まちなみ維持課管内 遊具改修 森ヶ崎公園、北前堀緑地</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課 課長氏名 杉村 由美 電話 5764-0626 担当者名 岡野 電話 5764-0643</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 調布まちなみ維持課 課長氏名 小出 和男 電話 3726-4319 担当者名 池田 電話 3726-4320</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課 課長氏名 齋藤 浩一 電話 5713-2005 担当者名 山本 電話 5713-1118</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 糺谷・羽田まちなみ維持課 課長氏名 青木 重樹 電話 3741-3154 担当者名 志村 電話 3741-1946</p> <p>2 バリアフリー化整備</p> <p>① 萩中公園 バリアフリー改修 改修工事・実施設計委託 ② 西六郷三丁目公園 バリアフリー改修 改修工事・実施設計委託</p>

	<p>③ 平和の森公園 バリアフリー改修 改修工事</p> <p>④ 都堀公園 バリアフリー改修 改修工事</p> <p>⑤ 本門寺公園 バリアフリー改修 基本・実施設計委託</p> <p>⑥ 洗足池公園 バリアフリー改修 基本・実施設計委託</p> <p>3 公園改修</p> <p>① あすなろ児童公園・千束児童遊園改修 改修工事・実施設計委託</p> <p>② 洗足池公園 池月橋架替 予備設計委託</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課</p> <p>課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0689</p> <p>担当者名 森下 電話 5764-0705</p>
--	---

【6】魅力ある地域づくり (11)

事業名		大森ふるさとの浜辺公園春秋花植栽管理	新規
予算額	359万円		
事業のねらい	<p>水と緑に恵まれた自然豊かな大森ふるさとの浜辺公園が、より一層、季節感のある公園になるよう、地域と連携・協働し、公園内の一部に春秋の季節感あふれる花壇の設置に取り組みます。</p> <p>来園者に大森ふるさとの浜辺公園がより親しみのある憩いの場として利用されるように整備します。</p>		
事業概要	<p>園内の2箇所に計200㎡の植栽地を造り、区民と協働して春の菜の花や秋のコスモスの種まきを行い、区が草刈・除草などの維持管理を行います。</p>		
問合せ先	担当課 都市基盤整備部 大森まちなみ維持課		
	課長氏名	杉村 由美	電話 5764-0626
	担当者名	岡野	電話 5764-0643

【6】魅力ある地域づくり（12）

<p>事業名</p>	<p>公園の整備</p>
<p>予算額</p>	<p>8億7,820万円</p>
<p>事業の ねらい</p>	<p>地域環境の改善を図り、防災面での安全性を高め、区民の余暇活動や健康増進に寄与するために、都市に潤いをもたらす公園・緑地の整備、拡張を進めます。</p>
<p>事業概要</p>	<p>1 （仮称）中央五丁目緑地の整備 用地取得、不動産鑑定 池上本門寺より続く崖線樹林帯を保全するとともに、区民が身近な地域で緑あふれる自然とふれあえる場所として整備するために用地を取得します。</p> <p>2 公園新設・拡張用地 か所付けなし</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 都市基盤管理課 課長氏名 杉村 克之 電話 5744-1689 担当者名 渡部 電話 5744-1304</p> <p>3 （仮称）中央五丁目緑地の整備工事、実施設計委託 都市に残った貴重な緑地を保全するため（仮称）中央五丁目緑地の整備工事および設計委託を行います。</p> <p>4 （仮称）東糞谷四丁目公園の整備工事 防災機能を持った（仮称）東糞谷四丁目公園の整備工事を平成21年度に引き続き行います。</p> <p>5 東蒲田公園整備工事の基本・実施設計委託 大田総合体育館建設に伴う東蒲田公園整備工事の基本・実施設計委託を行います。</p> <p>6 大森ふるさとの浜辺公園 干潟及び水面覆砂工事</p> <p>問合せ先 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 小島 圭二 電話 5764-0689 担当者名 森下 電話 5764-0705</p>

【6】魅力ある地域づくり（13）

事業名	 蒲田駅周辺地区のまちづくり						
予算額	2,324万円						
事業のねらい	<p>「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」の中で特に重要な区域である蒲田駅を中心とするエリアの整備を推進するため、再開発や都市基盤の整備について調査研究する組織を立ち上げ、地区整備の具体化に向けた開発手法や基盤施設整備の方向性を検討します。併せて、地権者の意向調査等を行います。また、パンフレットを作成する等、広報の充実を図ります。</p>						
事業概要	<table border="0"> <tr> <td>(1) 蒲田駅周辺開発及び基盤施設整備促進支援等委託</td> <td>2,257万円</td> </tr> <tr> <td>(2) 研究会の運営</td> <td>40万円</td> </tr> <tr> <td>(3) パンフレットの作成</td> <td>23万円</td> </tr> </table>	(1) 蒲田駅周辺開発及び基盤施設整備促進支援等委託	2,257万円	(2) 研究会の運営	40万円	(3) パンフレットの作成	23万円
(1) 蒲田駅周辺開発及び基盤施設整備促進支援等委託	2,257万円						
(2) 研究会の運営	40万円						
(3) パンフレットの作成	23万円						
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課						
	課長氏名 齊藤 浩一 電話 5744-1691						
	担当者名 大貫 電話 5744-1303						

【6】魅力ある地域づくり（14）

事業名	 大森駅周辺地区のまちづくり									
予算額	4億8,204万円									
事業のねらい	<p>大森駅周辺地区のまちづくりの一環として、中心拠点にふさわしいにぎわいと活力のあるまちをめざし、地域と連携しながら（仮称）大森北一丁目開発による複合施設の整備を行います。</p>									
事業概要	<p>（仮称）大森北一丁目開発は、一昨年12月に事業者と事業契約を締結し、昨年7月から事業者によって本体工事が進められています。本年度は区活用部分（入新井特別出張所、図書館、自転車駐車場）の内装工事等を行い、平成23年2月末竣工、3月オープンをめざします。</p> <p>1 事業の概要</p> <p>(1) 事業用地 大森北一丁目10番</p> <p>(2) 事業手法 区事業用地に定期借地権を設定して、民間事業者が複合施設を整備します。</p> <p>(3) 公共施設の内容 特別出張所・図書館・自転車駐車場</p> <p>2 予算</p> <table border="0" data-bbox="400 1301 1358 1429"> <tr> <td>(1) 委託料</td> <td>区活用部分内装等工事監理委託</td> <td>660万円</td> </tr> <tr> <td>(2) 工事請負費</td> <td>区活用部分内装等工事</td> <td>23,095万円</td> </tr> <tr> <td>(3) 負担金</td> <td>区活用部分付帯設備等整備</td> <td>24,445万円</td> </tr> </table>	(1) 委託料	区活用部分内装等工事監理委託	660万円	(2) 工事請負費	区活用部分内装等工事	23,095万円	(3) 負担金	区活用部分付帯設備等整備	24,445万円
(1) 委託料	区活用部分内装等工事監理委託	660万円								
(2) 工事請負費	区活用部分内装等工事	23,095万円								
(3) 負担金	区活用部分付帯設備等整備	24,445万円								
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 都市開発課									
	課長氏名 黒澤 明 電話 5744-1341									
	担当者名 大沼 電話 5744-1339									

【6】魅力ある地域づくり（15）

事業名	 大森駅周辺地区の整備構想				
予算額	1,009万円				
事業のねらい	<p>大森駅周辺地区のまちづくりの課題を整理し、学識経験者や地域住民等の意見を踏まえて、大森駅周辺地区を魅力あるまちとして整備するためのまちづくり方針・施策（ランドデザイン）を策定します。</p>				
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 グランドデザインの策定 <ol style="list-style-type: none"> (1)学識者検討委員会の運営 (2)ランドデザイン策定調査委託 2 平成21年度に策定した素案を基に、平成22年度は学識者検討委員会での検討、区民アンケート、パブリックコメント等を実施し、ランドデザインを策定します。 3 策定予算 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(1)学識者検討委員会の運営</td> <td style="text-align: right;">49万円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(2)調査委託料等</td> <td style="text-align: right;">960万円</td> </tr> </table> 	(1)学識者検討委員会の運営	49万円	(2)調査委託料等	960万円
(1)学識者検討委員会の運営	49万円				
(2)調査委託料等	960万円				
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課				
	課長氏名 齊藤 浩一 電話 5744-1691				
	担当者名 落合 電話 5744-1303				

【6】魅力ある地域づくり（16）

事業名	都市計画マスタープランの改定
予算額	1,055万円
事業のねらい	平成20年度に大田区基本構想、おおた未来プラン10年が策定され、これに基づいた各分野の個別計画の改定も進んでいます。このような状況を踏まえ、新たな課題や社会経済状況の変化に対応するため、平成11年に策定した現在の大田区都市計画マスタープランを改定します。
事業概要	<p>21年度におこなった基礎調査を基に、引き続き改定作業を行います。</p> <p>現在の大田区都市計画審議会を活用し、都市計画マスタープラン改定委員会を開催します。また、改定作業にあたっての資料の作成、パブリックコメントの実施等を専門業者に委託します。</p> <p>1 スケジュール (22年度) 改定案決定 (23年度) 都市計画決定</p> <p>2 予算 都市計画マスタープラン改定委員報酬等 56万円 都市計画マスタープラン改定の業務委託料 999万円</p>
問合先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課
	課長氏名 鈴木 清貴 電話 5744-1663
	担当者名 中村 電話 5744-1333

【6】魅力ある地域づくり（17）

事業名	士 新空港線「蒲蒲線」の整備促進事業
予算額	1,563万円
事業のねらい	JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を鉄道でつなぎ、区の東西間を移動する際の利便性の向上や羽田空港への鉄道アクセス等を強化するため、新空港線「蒲蒲線」の実現に向けた取り組みを行います。
事業概要	<p>新空港線「蒲蒲線」は、平成12年の運輸政策審議会答申18号で、羽田空港アクセス機能の強化に資する路線とされ、平成27年までに整備着手することが適当であるとされています。</p> <p>平成22年度の新空港線「蒲蒲線」整備促進事業は、平成21年度の勉強会での調査・検討を踏まえ、関係者との検討会において整備計画案作成に向けた検討の深度化を図ります。</p> <p>また、整備促進の一環として、蒲蒲線整備促進区民協議会と連携し、区民の整備促進の機運を高めていきます。</p>
問合先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課
	課長氏名 高安 道郎 電話 5744-1653
	担当者名 鴫田・鈴木 電話 5744-1332

【6】魅力ある地域づくり（18）

事業名	 景観計画策定事業 新規
予算額	578万円
事業のねらい	平成16年6月に景観法が制定され、地域特性にあわせた良好な景観形成に向けた実効性のある取り組みが可能になりました。景観法を活用した景観行政を推進するため、景観行政団体への移行、大田区景観計画の策定を目指します。
事業概要	景観法では、「景観行政団体」が景観計画を定め、運用することになっているため、平成22年度は、景観行政団体移行に向けて、東京都と事前協議を行うための景観計画案、景観法委任条例案策定のための基礎調査を行います。 予算 基礎調査委託料 578万円
問合先	担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課
	課長氏名 鈴木 清貴 電話 5744-1663
	担当者名 中村 電話 5744-1333

【6】魅力ある地域づくり（19）

事業名	 おおた住まいづくりフェアの開催 新規
予算額	750万円
事業のねらい	区民、大田区建築あっせん事業連絡協議会等の団体、区の3者が連携し、良質で安全な住まいづくりを推進し、区内建築業界の活性化を図り、これからも住み続けたい大田区を実現するために、おおた住まいづくりフェアを開催します。
事業概要	1 会場 大田区産業プラザ大展示ホール他 2 開催予定日 平成22年10月3日（日） 3 主催 おおた住まいづくりフェア実行委員会 4 催事概要 (1)建築職人などによる技能展示、工事事例紹介及び相談 (2)行政施策のPR (3)耐震改修やバリアフリー化などに関する住まいづくり関係セミナー (4)起震車体験や模擬店などのイベント
問合先	担当課 まちづくり推進部 建築調整課
	課長氏名 伊藤 晴司郎 電話 5744-1381
	担当者名 渡辺・岸本 電話 5744-1382

【6】魅力ある地域づくり (20)

事業名	住宅マスタープランの策定
予算額	978万円
事業のねらい	大田区の住宅政策の基本となる次期住宅マスタープランを策定します。住宅政策は住生活基本法の制定により、「量」から「質」へと転換されました。これを受け、社会経済状況や各計画との整合を図り、新たな計画を策定することで、区内の望ましい住環境の形成を推進・誘導します。
事業概要	21年度の基礎的な調査・分析を活かし、今後の住宅施策の具体的な内容について調査検討を行います。平成20年度の住宅・土地統計調査等の最新データを用いて、庁内検討会及び有識者検討委員会で検討を行い、平成23年3月末までに策定する予定です。 主な作業は、①庁内検討会及び有識者検討委員会の開催②課題別の調査・分析・検討③区民へのヒアリング等意向調査④施策の展開と実現方策の検討⑤パブリックコメントの実施・解析⑥最終案作成・決定 等
問合せ先	担当課 まちづくり推進部 住宅課
	課長氏名 外崎 光生 電話 5744-1342
	担当者名 蔭山 電話 5744-1343

【6】魅力ある地域づくり (21)

事業名	 京急関連駅周辺のまちづくり事業
予算額	5,349万円
事業のねらい	京浜急行線連続立体交差事業にあわせて、京急蒲田駅、糀谷駅、雑色駅周辺の整備を行います。その事業主体である関係権利者組織の活動に対して支援を行います。
事業概要	区は京浜急行線連続立体交差事業を契機に、京急蒲田、糀谷、雑色の3駅周辺地区において、広場等の公共施設の設置や、防災対策、駅前土地の有効活用等、魅力ある駅周辺のまちづくりを進めるため、駅前広場の整備や商店街の活性化、住環境の向上をめざしたまちづくりを推進します。 京急蒲田駅周辺・糀谷駅周辺では都市計画決定を経て、平成22年度は、市街地再開発準備組合が市街地再開発の事業化に向けた検討を行います。なお、雑色駅周辺は引き続き、まちづくりの検討を進めます。 これらのまちづくり事業に対し、積極的に支援を行います。
問合せ先	担当課 連続立体事業本部 連続立体事業課
	課長氏名 廣瀬 達志 電話 5744-1355
	担当者名 富吉 電話 5744-1356

【6】魅力ある地域づくり（22）

事業名	士 京急線の連続立体交差事業
予算額	14億5,625万円
事業のねらい	<p>京浜急行線の連続立体交差化により、地域の分断や踏切による交通渋滞の解消を進め、あわせて関連側道や駅前広場を整備し、魅力あるまちづくりを推進します。</p>
事業概要	<p>東京都が主体となり、大田区、京浜急行電鉄㈱が協力して、京浜急行線（本線 4.7km、空港線 1.3km、計 6.0km）の連続立体交差化を行い、踏切 28 箇所を除去します。あわせて関連側道や駅前広場を整備します。</p> <p>事業推進にあたり、大田区は、連続立体交差事業（鉄道本体）の工事費及び用地費等の経費、並びに京急蒲田駅総合改善事業補助金等を負担します。</p> <p>大田区は、東京都、京浜急行電鉄㈱と連携し、平成 24 年度鉄道高架化、平成 26 年度の事業完了に向けて積極的に取り組みます。</p>
問合先	担当課 連続立体事業本部 連続立体事業課
	課長氏名 岡田 誠 電話 5744-1351
	担当者名 丸山 電話 5744-1353

(7) 国際化推進

【7】国際化推進（1）

事業名	✚ 外国語版大田区紹介ビデオの制作 新規
予算額	209万円
事業のねらい	多文化共生のまちづくりを目指し、区内在住外国人に大田区についての理解を深めてもらうため、外国語版の大田区紹介ビデオを制作します。また羽田空港の国際化に伴い、海外からの来訪者の増加が見込まれるため、海外向け広報ツールとして活用します。
事業概要	平成21年度に制作した大田区紹介ビデオ「まるごとおおた」を翻訳した外国語版を制作します。図書館等での貸出しや、事業等で放映するほか、ホームページにも掲載し、海外でも視聴できるようにします。 1 内容：区の概要、見どころ、地域活動の紹介（約30分） 2 言語：英語・中国語・韓国語の3か国語 3 形態：DVD 100枚
問合せ先	担当課 経営管理部 広報課
	課長氏名 清水 耕次 電話 5744-1131
	担当者名 吉崎 電話 5744-1132

【7】国際化推進（2）

事業名	☺✚ (仮称) 多文化共生推進センターの開設 新規
予算額	2,360万円
事業のねらい	現在策定中の(仮称)大田区多文化共生推進プランに基づき、大田区の多文化共生推進施策の拠点として整備します。センターでは、外国人向け相談窓口や日本語教室、多文化共生理解のための交流事業等を実施します。運営は、地域力を活かして区内国際交流団体やボランティアとの連携・協働により行います。
事業概要	1 開設予定場所 消費者生活センター内 2 開設スケジュール 22年6月～7月 消費者生活センター改築工事 22年9月1日 開設予定 3 スペース 事務・交流室 1 多目的室 1 教室 1
問合せ先	担当課 地域振興部 地域振興課 国際都市・多文化共生担当
	課長氏名 木田 早苗 電話 5744-1225
	担当者名 小川 電話 5744-1227

【7】国際化推進（3）

事業名	外国人 外国語表記（3か国）の防災地図・防災パンフレット作成 新規
予算額	554万円
事業のねらい	区内在住の外国人に対する防災意識を高めるとともに、災害時の被害軽減を図るために、大田区防災地図及び防災パンフレットの外国語表記版を作成します。
事業概要	<p>1 対応言語 英語、中国語、ハンガルの3か国語</p> <p>2 作成部数 地図 3,000部×3ヶ国語=9,000部 パンフレット 3,000部×3ヶ国語=9,000部</p> <p>3 配布方法 外国人登録窓口、国際都市・多文化共生担当等を通じて配布します。</p>
問合せ先	担当課 地域振興部 防災課
	課長氏名 田中 教彦 電話 5744-1234
	担当者名 長沼、峯田 電話 5744-1237

【7】国際化推進（4）

事業名	外国人 国際化記念事業
予算額	6,362万円
事業のねらい	平成22年(2010年)の羽田空港の国際化を契機とした、「羽田空港国際化及び大田区観光のPR」を推進するため、イベントやキャンペーン等、大田区の国際都市・生活観光都市化を区内外に広く周知するための記念事業を実施します。
事業概要	<p>1 羽田空港国際化記念イベント事業の実施 5,586万円 平成22年10月の羽田空港の国際化に向けたイベント・キャンペーン</p> <p>2 大田観光紹介用広報物の作成 656万円 大田区の観光を海外も視野に入れてPRするための広報物を作成します。(パンフレット(多言語対応)・ポスター 他)</p> <p>3 大田区観光大使 120万円 外国籍の方で、区内在住・在勤・在学等大田区にゆかりのある方を大田区観光大使(来～る大田区大使)に任命し、大田区の魅力を発信します。</p>
問合せ先	担当課 産業経済部 観光課
	課長氏名 青木 毅 電話 3733-6128
	担当者名 印牧(かねまき) 電話 3733-6190

【7】国際化推進（5）

事業名	士 (仮称) 羽田空港跡地整備計画の策定
予算額	2, 894万円
事業のねらい	羽田空港跡地のうち第1ゾーンを中心とする区域について、大田区全体の発展につながる具体的な土地利用を検討し、実現に向けた整備計画を策定します。
事業概要	<p>大田区は、平成20年10月に「羽田空港跡地利用OTA基本プラン」を策定し、市街地に隣接し区のまちづくりに最も関係の深い第1ゾーンについての基本的な土地利用の考え方を明らかにしました。</p> <p>(仮称) 羽田空港跡地整備計画は、OTA基本プランを基に跡地整備の具体化を図るため、事業のニーズや成立性等を調査・検証しながら、導入機能・施設を絞り込み、その内容や規模を明らかにします。併せて開発に必要な基盤整備の課題や整備手法、財政フレーム等を検討整理し、整備計画として取りまとめます。</p> <p>策定時期：平成22年10月</p>
問合先	担当課 経営管理部 企画財政課（空港担当）
	課長氏名 玉川 一二 電話 5744-1648
	担当者名 斎藤 電話 5744-1650

